

# 四日市市 就学前教育・保育カリキュラム



令和6年3月



## はじめに

少子高齢化の進行やグローバル化の一層の進展に伴い、AIを活用した技術革新が急速に進み、超スマート社会が到来するなど、社会は目まぐるしい速さで変化を続けています。そのような中、こども家庭庁が2023年4月に発足しました。「こどもまんなか社会の実現」を最重要コンセプトとして掲げ、「こども基本法」が新しく施行されました。また、文部科学省は2023年2月「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」において、「幼児教育の質に関する認識が社会的に共有されているとは言い難い」ことや「発達の連続性に関する理解が必ずしも十分でない」ことを示し、幼児期の教育で育みたい資質・能力を就学前施設、家庭、学校、地域（社会）と共有し、その価値を認識しあうことや「遊びを通じて学ぶ」という幼児期の特性を、子どもにかかわる大人が立場の違いを越えて再認識すべきことを求めました。

本市においても、2023年4月、就学前教育・保育に携わるすべての保育者が協力し、教育・保育の質向上を図るための施設として、四日市市幼児教育センターを県内の市町で初めて開設しました。そこで、本市の就学前教育・保育の最前線を担う公私立の幼稚園・保育園・認定こども園・地域型保育所の代表者や学識経験者、保育行政関係者、教育委員会関係者が集まり「四日市市幼児教育・保育研究協議会」を開催し、保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領等や「四日市市第4次学校教育ビジョン」「スタートカリキュラム四日市版」をもとに、「四日市市就学前教育・保育カリキュラム」の作成をめざしてまいりました。作成にあたっては、「こども基本法」の基本理念である「全てのこどもについて、個人として尊重され、基本的人権が保障されること」（第3条 基本理念 一部抜粋）を根幹に据えました。

本カリキュラムは、各就学前施設が教育課程や指導計画、日々の保育・教育活動の立案や実施等に活用していただくものであり、具体的な教育・保育内容や方法については、園の特性や地域性を生かし、各園独自に構成していただきます。子どもの健やかな成長という同じ目標に向かって、子どもにかかわる関係者が真に一体となって連携・協働することにより、子どもはもとより、保護者や幼保ここの先生をはじめとする全ての関係者のウェルビーイングの実現へとつなげていくことも期待されます。

乳幼児期の子どもの育ちと学びに携わる皆様が、本カリキュラムを十分に活用していただき、これからの時代に求められる力を確実に身に付け、子どもたち一人ひとりのもつ可能性を最大限に伸ばす教育・保育の実現に向けて、共に歩んでくださることを願っています。





# 目次

## はじめに

1 四日市市就学前教育・保育カリキュラム策定にあたって	5
2 四日市市就学前教育・保育ビジョンについて	9
3 四日市市就学前教育・保育カリキュラム 0歳児～5歳児	12
0歳児	13
1歳児	19
2歳児	25
3歳児	32
4歳児	39
5歳児	46
4 就学前教育・保育と小学校教育への接続	53

## 資料

本冊子の写真については、承諾を得ています。  
個人情報を含んでいますので、ホームページに  
掲載したり、複製したりすることがないように、  
慎重な取り扱いをお願いいたします。



# 本カリキュラムの用語の扱いについて

## 「幼児」についての扱い

### 四日市市幼児教育センター条例より(令和5年4月2日施行)

#### (趣旨)

第1条 この条例は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2の規定及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第30条の規定に基づき、四日市市幼児教育センターの設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

#### (設置)

第2条 本市は、幼児教育及び保育に携わる職員の資質の向上及び支援機能の充実を図ることにより、もって幼児等（児童福祉法（昭和22年法律第164号）第4条第1項第1号に規定する乳児及び同項第2号に規定する幼児をいう。）の心身の健全な育成を図るため、四日市市東新町26番32号に四日市市幼児教育センター（以下「センター」という。）を設置する。

### 法令名 児童福祉法

### 法令番号（昭和二十二年十二月十二日法律第百六十四号）

#### 第四条

この法律で、児童とは、満十八歳に満たない者をいい、児童を左のように分ける。

- 一 乳児 満一歳に満たない者
- 二 幼児 満一歳から、小学校就学の始期に達するまでの者

本冊子における「幼児」は、0歳から就学前の子どもを総称します。

# Ⅰ 四日市市就学前教育・保育カリキュラム策定にあたって

## 四日市市就学前 教育・保育 カリキュラム策定に あたって

はじめに

カリキュラム策定にあたって

ビジョンについて

カリキュラム

小学校教育への接続

資料

# I 四日市市就学前教育・保育カリキュラム策定にあたって

## ① 四日市市関連計画との関係

四日市市では、子ども・子育て支援制度のもと、平成27年3月に「四日市市子ども・子育て支援事業計画（計画期間：平成27年度～令和元年度）」を策定しました。その後引き続き、子どもと子育てにやさしいまちに向けた環境整備を総合的かつ計画的に進める「第2期四日市市子ども・子育て支援事業計画（計画期間：令和2年度～令和6年度）」が策定されました。この事業実施の具体化にあたり、四日市市就学前教育・保育カリキュラムを策定します。

## ② 四日市市のめざす就学前教育・保育

本市では、「第4次四日市市学校教育ビジョン」において、社会情勢の変化を踏まえ、「四日市市総合計画」「四日市市教育大綱」に掲げる「夢と志を持ち、未来を創るよっかいちの子ども」の育成をめざした基本的計画を策定しました。

乳幼児期は、子どもの生涯にわたる人格形成の基礎が培われる重要な時期です。乳幼児が安心感や信頼感の中で、自ら動き出し身近な環境（人・物・状況など）にかかわり、発達に必要な体験を積み重ねることで、自立に向かう姿につながります。小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることを配慮し、四日市市の各就学前施設において、教育・保育の充実を図っていきます。

## ③ 四日市市就学前教育・保育カリキュラムについての考え方

前項で触れたように、令和3年3月に策定された「四日市市教育大綱」にめざす子どもの姿として「夢と志を持ち、未来を創るよっかいちの子ども」を掲げています。

このめざす子ども像にもとづき、乳幼児期の育ちを「すこやか」「つながり」「まなびのめばえ」の3つの視点でとらえ、就学前教育・保育において、子ども自身が心を揺り動かす豊かな体験を重ね、多様な人とのかかわりの中で「生きる力」「共に生きる力」を育むための望ましい教育・保育を創造していきます。また、「第4次四日市市学校教育ビジョン」の施策の重点とされている「四日市市新教育プログラム」の6つの柱を、各就学前施設職員が共有し、教育・保育を行い、各年齢における遊びを通じた学びを明確にし、一貫性・連続性を意識した学びの一体化をめざします。

各就学前施設では、それぞれの設置目的や制度運営上の違いをもちながらも、教育・保育を担う機関としての重要な役割を果たし、それぞれ特色ある教育・保育を行ってきました。その実績を生かし、育てたい子どもの姿や育ちを共有し、就学を見据えた教育・保育を実践していきます。

編成にあたっては、教育基本法や学校教育法等関係法令を遵守するとともに、保育所保育指針や幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領にもとづき、乳幼児期の発達特性を十分に考慮し、環境を通して行う教育・保育であること、乳幼児が主体となって活動することに留意しました。

実際の教育・保育場面を通しての検討も交え、カリキュラムの内容についての協議を進めてきました。そして現行の教育課程や保育課程との整合性を図るとともに、将来的には乳児から小学校の架け橋期までを見通したものとなるように、これからも研究と検討を重ねていきます。



## 年齢別のカリキュラムについて

0歳児は子どもの発達を6カ月未満、6カ月から9カ月未満、9カ月から12カ月未満、12カ月から18カ月未満の4期に分けて、月齢で区分しました。

1歳児から5歳児については年齢ごとに一年間の課程をいくつかの時期で分けた「期」で表記しています。

0歳児	I期	おおむね6カ月未満
	II期	おおむね6カ月～9カ月未満
	III期	おおむね9カ月～12カ月未満
	IV期	おおむね12カ月～18カ月未満
1歳児	I期	4月～5月
	II期	6月～9月
	III期	10月～12月
	IV期	1月～3月
2歳児～5歳児	I期	4月～5月
	II期	6月～8月
	III期	9月～10月
	IV期	11月～12月
	V期	1月～3月

## 四日市市がめざす子ども像にそった3つの視点からの記述について

0歳児から5歳児までの各カリキュラムの次ページには、乳幼児一人ひとりの発達の特性と発育の個人差に留意し、丁寧な対応をすることを基本としつつ、「すこやか」「つながり」「まなびのめばえ」の3つの視点から、年齢ごとに大切にしたいことを表記しています。

からだをつかって  
あそぼう

「すこやか」(四日市市新教育プログラムの柱4 運動大好き!走・跳・投UPプログラムにつながる)にかかわり、体を使った遊びの事例を表記しています。

期/月	月齢/年間をⅣ期及びⅤ期に分けて表示	
子どもの姿	「すこやか」「つながり」「まなびのめばえ」の3つの視点にポイントを置き、子どもの姿を表記しています。	
【すこやか】 【つながり】 【まなびのめばえ】	ねらい 内容（健康 人間関係 環境 言葉 表現）	<p>生きる力の基礎となる心情・意欲・態度を示し、各時期に育ってほしい子どもの資質・能力の姿を表記しています。</p> <p>ねらいをもとに、各就学前施設で遊びや活動を選び、環境や援助を工夫し、日々の保育を実践し、子どもの姿を通して振り返り、翌日につなげていきたいと思ひます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康・人間関係・環境・言葉・表現の5領域にわたり、子どもの発達にふさわしい経験をする内容を示しています。</li> <li>5領域のどの領域も相互にかかわりあって経験するものであるため、枠をはずして表記しています。</li> </ul> <p>乳幼児が自ら選んで行う遊びを大切に、乳幼児の発想や主体的な動きを生かし、乳幼児の発達に応じて様々な活動を取り入れていくことが望ましいと考えます。そして、遊びの中で楽しんだことが次の活動につながり、遊びも広がるようにしていきたいと思ひます。</p>
<b>保育のポイント</b>		
<p>子どもが主体的に活動し、発達に必要な体験を得るため、保育者の援助とかかわり、環境構成や食育にかかわる事項を表記しています。</p> <p>※「保育者」が主語となっています。</p>		
<p>子どもの生命の保持や情緒の安定を図るために欠かせないかかわりを基盤として、環境や活動により発達を援助していきたいと思ひます。</p>		
<b>家庭との連携</b>		
<p>家庭と各就学前施設の生活がつながり、子どもの発達に応じた育ちや集団生活の中での予想される姿などを通じて、家庭との連携を図る上での参考です。保育者と保護者の間で子どもに関する情報のやり取りを細やかに、子どもへの愛情や成長を喜ぶ気持ちを伝えあい、施設のビジョンや意図の理解を得て、保護者の不安や疑問、要望を受け止め、保護者との相互理解を図っていきけるよう表記しています。</p>		

## 2 四日市市就学前教育・保育ビジョンについて



### 四日市市就学前教育・保育 ビジョンについて

## 2 四日市市就学前教育・保育ビジョンについて

子どもたちがこれからの複雑で変化の激しい時代を生き抜くために、就学前教育・保育において、子ども自身が心を揺り動される豊かな体験を積み重ねることが大切です。

就学前から中学校まで一貫した考えによる「四日市市新教育プログラム」を展開し、「生きる力」と「共に生きる力」の基礎を育て、「夢と志を持ち、未来を創るよっかいちの子ども」をめざします。

### 遊びが子どもたちの未来をつくる

安心感と信頼感をもち、身近な環境にかかわり、  
遊びの楽しさや心地よさを味わい育てる就学前教育・保育

生涯にわたる人格形成の基礎が培われる重要な時期である就学前の子どもたちの『主体的な遊びを通しての学び』の充実を図ります。

園での遊びなどを通じて、多様な経験を重ね、「主体的で対話的な学び」を実現し、「自覚的な学び」へと意識できるよう活動を計画、実施し、小学校との円滑な接続を図ります。

子どもの姿をもとに各時期のねらいを明確にし、経験させたい内容を「すこやか」「つながり」「まなびのめばえ」3つの視点でとらえています。ただし、乳幼児期の遊びや活動は総合的に行われ、各要素を明確に区別することはできないことから、記載された内容をめやすにしながら、各園において、全体的な計画ならびに指導計画の作成、実践、評価を行い、教育・保育の質の向上に努めていきます。

### すこやか

生活や遊びを通し、思う存分体を動かし、様々な経験を重ね、自立心と自律性を育みます。



安全で、安心した環境のもと、しなやかな心と体を育てます。



興味・関心を広げ、試したり、繰り返したりし、体を動かすことを楽しみます。



## つながり

友だちと一緒に遊び、いろいろな気持ちを共有し、人とかかわることの心地よさを味わいます。



人から愛され、自分を大事にし、互いに認めあう心を育てます。



自分の思いを表現し、友だちの思いを知り、調整することで、周りの人との関係性を築いていく心を育てます。



## まなびのめばえ

様々なことに関心を持ち、遊びを楽しむことで、好奇心や探究心、学びへの基盤を育てます。

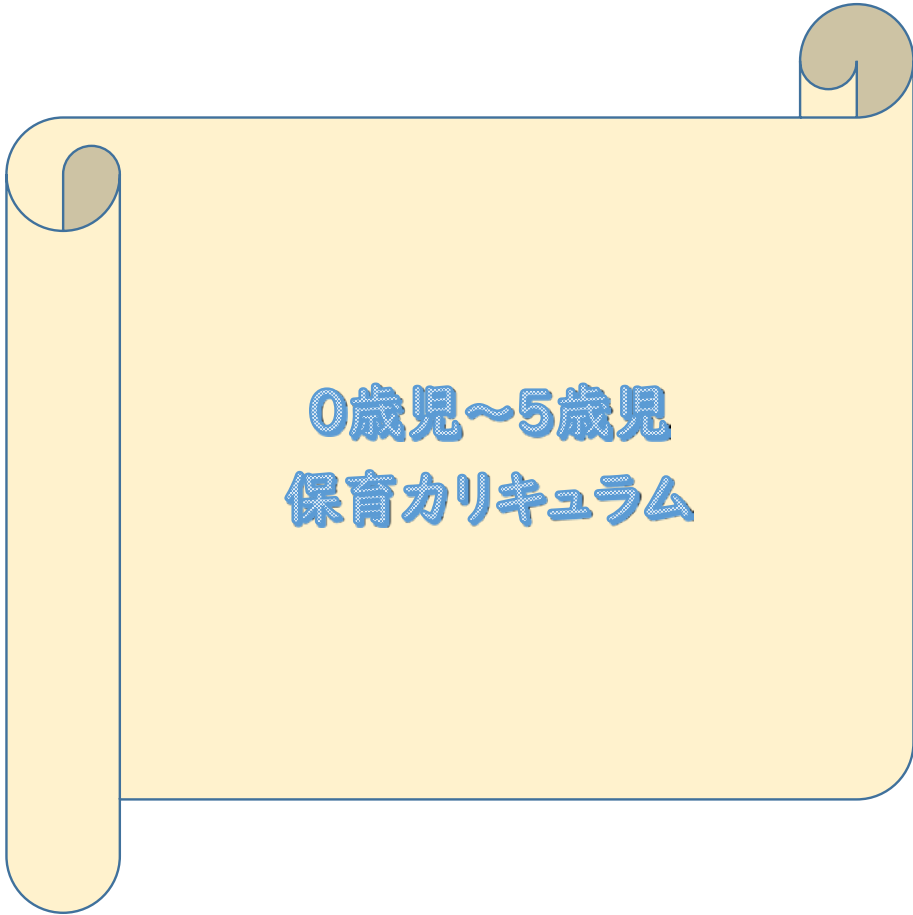


夢中になって遊び、達成感や充実感、自分を表現する喜びを味わう中で、思考力や想像力、探究心を育てます。

遊びを通して、やりたいと思ったことをやりきったり、自分で考えたことを試してみたりし、面白さや楽しさを味わいます。



### 3 四日市市就学前教育・保育カリキュラム 0歳児～5歳児



## 0歳児～5歳児 保育カリキュラム

はじめに

カリキュラム策定にあたって

ビジョンについて

カリキュラム

小学校教育への接続

資料

# 夢と志を持ち、未来を創るよっかいちの子ども

0歳児

## すこやか

保育者が、愛情豊かに一人ひとりの子どもにかかわることで、情緒が安定し気持ちよく過ごします。

子ども自らの思い、意欲のもと、姿勢を変えようとしたり、移動しようとしたりする姿が見られるようになります。子どもの目の前に様々な環境を整え、新しい世界へかかわり、開いていこうとする主体を育み、子どものそばに寄り添い、生活や遊びを楽しんでいくことを大切にしていきたいと思います。



## つながり

子どもの思いから、保育者が周りの世界へとつないでいくことが、子どもの遊びや生活を広げます。子どもの視線の先、移動し探索を始めた先に、興味や関心が生まれます。その興味や関心を保育者が膨らませ、広げながら、子どもの経験が楽しいという思いにつながるように、子どもの育ちを支えていくことを大切にしていきたいと思います。



様々な場面で、自分の思いや意思を言葉などで、表現していなくても、主体性を発揮しています。子どもの気持ちや感情に気づき、保育者が周りの人とつながっていくように寄り添っていくことを丁寧に行っていきたいと思います。

## まなびのめばえ

子どもは、安心できる保育者が見守ってくれることで興味をもったことをやってみたい、友だちや身近な大人の真似をしてみたいという思いを膨らませ、試し始めます。この気持ちが育ってきていることを保育者が受け止め、遊びや生活を生き生きと過ごせるよう丁寧ににかかわっていききたいと思います。

子どもの興味や関心をくみ取り、環境を整えることによって、豊かな発想が生まれ、子どもの世界が広がり、喜び、楽しめます。子どもが、愛されていると感じ、安心できる環境が、一人ひとりの子どもに、周りの人や物へかかわろうとする心を育てていくことになります。愛情豊かな人間関係を土台に、まなびのめばえへつなげます。



## からだをつかって あそぼう



安心できる保育者や友だちと一緒に、簡単な音楽に合わせて、体を動かして遊びます。一人ひとりの子どもが、自分の体を自然に意識しながら、手や足を動かそうとします。周りの人と一緒に体を動かす時間がつながりをつくっていきます。

- ・わらべうた（いちりにり、ここはとうちゃんにんどころ）
- ・ふれあい遊び（きんぎよのひるね）

など



期/月		0歳児 I期（おおむね 6カ月未満）	
子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>授乳、睡眠などの時間が徐々に規則的になってくる。</li> <li>首がすわり、腹ばいや寝返りをするようになり、移動のための運動が始まる。</li> <li>身近な大人との間に、情緒的なつながりがつくられる。</li> </ul>	
【すこやか】 【つながり】 【まなびのめばえ】	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりが安定したリズムで機嫌よく過ごす。</li> <li>体を動かしたり、動かしてもらったりする。</li> <li>あやされたり、声をかけられたり、保育者とのかかわりを喜ぶ。</li> </ul>	
	内容（健康 人間関係 環境 言葉 表現）	<ul style="list-style-type: none"> <li>お腹がすいたらミルク（母乳）を満足するまで飲み、機嫌よく過ごす。</li> <li>特定の保育者に見守られて安心して眠り、心地よい生活リズムで過ごす。</li> <li>おむつが濡れた時は、取り替えてもらい、気持ちよさを感じる。</li> <li>手足を動かす、寝返りをする、うつぶせになるなど、体を動かして遊ぶ。</li> <li>声や泣き声で自分の欲求を表し、受け入れてもらうことで安心する。</li> <li>優しく声をかけてもらったり、名前を呼んでもらったりすることを喜ぶ。</li> <li>心地よいときは、喃語を発したり、笑ったりする。</li> <li>特定の保育者とスキンシップをとり、安心して過ごす。</li> <li>周囲の物に関心をもち、手を伸ばして触れようとしたり、なめたりして確認する。</li> <li>握り玩具を持ったり、振ったりして遊ぶ。</li> <li>親しみのある声に反応したり、音の出る物、動く物を目で追ったりする。</li> <li>保育者のあやし遊びに機嫌よく応じたり、喃語を発したり、手足を動かす。</li> </ul>	
	保育のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>室温、湿度、換気、採光、清潔などの環境を整え、一人ひとりの生活リズムに応じ、心地よく過ごせるようにする。</li> <li>一人ひとりの子どもの健康状態を把握し、体調の変化に適切に対応する。</li> <li>できるだけ特定の保育者が、子どもの表情やしぐさから要求を読み取りながら、応答的にかかわり、人への愛着心や親しみがもてるようにする。</li> <li>保育者との信頼関係のもと、ミルク（母乳）を飲み、心地よい生活の基盤を築くようにする。</li> <li>快、不快の要求に応じる関係を土台とし、保育者が視線を合わせ、子どもの表情や動作に応じた言葉をかけ、喃語や発声を受け止めていくようにする。</li> </ul>	
家庭との連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの24時間の生活が、相互に分かるように連絡ノートを活用したり、送迎時に伝えあったりし、睡眠、授乳、便、機嫌、体調の変化などについて共有する。</li> <li>育児の楽しさやたいへんさなど、保護者の気持ちに寄り添い、発達に対する不安や戸惑いを受け止め、共に子育てを進められるように保護者との関係づくりに努める。</li> </ul>	

期/月		0歳児 Ⅱ期（おおむね 6カ月～9カ月未満）
子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>腹ばい、ずりばい、よつばいで動こうとし、お座りも安定してくる。</li> <li>離乳食を食べ始める。</li> <li>保育者と十分にかかわり、欲求を受け止めてもらい、親しみをもち安定して過ごし、保育者の語りかけに自分でも声を出す。</li> </ul>
【すこやか】 【つながり】 【まなびのめばえ】	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>腹ばいや寝返り、お座りなど、体を動かして遊ぶことを喜ぶ。</li> <li>保育者に食べさせてもらい、様々な食材を喜んで食べる。</li> <li>保育者の語りかけを喜び、自分でも声を出すことを楽しむ。</li> </ul>
	内容（健康 人間関係 環境 言葉 表現）	<ul style="list-style-type: none"> <li>離乳食を食べ始め、様々な食品の味や形態に慣れ、舌を使ってつぶして食べたり飲みこんだりする。</li> <li>おおつが濡れた時は、取り替えてもらい、気持ちよさを感じる。</li> <li>一人ひとりの生活リズムで安心して眠る。</li> <li>欲しい玩具をめがけて手を伸ばしたり、寝返り、はう、お座りなどをし、活発に動くことを喜ぶ。</li> <li>保育者を真似ようとしたり、あやされたり、名前を呼ばれたりして喜ぶ。</li> <li>保育者に十分かかわってもらい、安心し、抱いてもらいたがったり、声を出して要求したりする。</li> <li>人見知りをしたり後追いをしたりする。</li> <li>一人で機嫌よく、興味のある玩具に対して、つかむ、見つめる、しゃぶる、振る、打ちつけるなどして遊ぶ。</li> <li>物を落とす、引き出しの中の物を引っ張り出すなど、気に入ったことを繰り返して遊ぶ。</li> <li>機嫌のよい時には盛んに喃語で話そうとする。</li> <li>自分の名前を呼ばれると分かり、振り向こうとする。</li> </ul>
<b>保育のポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>体調を観察し、変化に適切に対応する。</li> <li>安心できる保育者とのかかわりのもと、生活のリズムを整え、機嫌よく過ごせるようにする。</li> <li>人見知り、不安、甘え等の気持ちを受け止め、安心できるように共感したり、スキンシップしたりし、保育者との愛着心が育つようにする。</li> <li>食べるための機能（捕食・嚥下・咀嚼）が育つように、丁寧にかかわる。</li> <li>保育者の話しかけを喜び、喃語を発することを楽しむことができるよう、応答的なかかわりを持ち、発語を促すようにする。</li> </ul>		
<b>家庭との連携</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの家庭状況に合わせながら、安定した睡眠、食事、運動の生活リズムをつくっていけるように家庭と連携していく。</li> <li>送迎時などを利用し、育児に対する不安や戸惑いを受け止め、育児の楽しさを知らせることを積み重ねながら、保護者との信頼関係を深めていく。</li> </ul>		

期/月		0歳児 Ⅲ期（おおむね 9カ月～12カ月未満）
子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>生活リズムが安定して、一定時間眠り、機嫌よく遊ぼうとする。</li> <li>よつばいからつかまり立ち、伝い歩き、ひとり立ちへと運動面が発達してくる。</li> <li>保育者との関係のもと、意思や欲求を簡単な動作や表情で表そうとする。</li> </ul>
【すこやか】 【つながり】 【まなびのめばえ】	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>食べることに期待をもち、自分で食べてみようとする。</li> <li>手指を使い、よつばい、つかまり立ち、伝い歩きなど体を動かし遊ぶ。</li> <li>指さしや発声で要求を伝え、受け止めてもらえることを心地よく感じる。</li> </ul>
	内容（健康 人間関係 環境 言葉 表現）	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者に食べさせてもらったり、手でつまんで自分で食べようとしたりする。</li> <li>おむつが濡れた時は、取り替えてもらい、気持ちよさを感じる。</li> <li>一定時間安心して眠るようになる。</li> <li>十分につかまり立ちや伝い歩きをしたり、手押し車や箱などを押して歩いたりする。</li> <li>つまむ、たたく、ひっぱるなど手や指を使って遊ぶ。</li> <li>相手のしていることに興味を示し、自分もしようとしたり、他の子どもが持っている物に手を出したり、相手から「ちょうだい」と求められると物を渡そうとしたりする。</li> <li>「いやいや」をしたり「バイバイ」をしたりする。</li> <li>保育者の言葉がけや身ぶりていろいろなことが分かるようになり、思いを動作で表現する。</li> <li>戸外や散歩に行くことを喜び、事物や動物に興味を示す。</li> <li>紙を破く、物を落とす、つまむ、箱や引き出しを開ける、物を出すなどといった探索を楽しむ。</li> <li>「ワンワン」「ブーブー」など、一語文を発しようとする。</li> <li>保育者のすることに関心をもち、声を出したり、動作を真似ようとしたりする。</li> </ul>
<b>保育のポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>体調を観察し、変化に適切に対応する。</li> <li>保育者のかかわりや友だちの姿を通して、生活のリズムを整え、一定時間の睡眠がとれるようにする。</li> <li>子どもの発語や指さしや触りたい、遊びたい、試したいなどの要求を受け止め、気持ちに寄り添い共感関係を築いていくようにする。</li> <li>食具を持ちたがるが、持てることと使えることを見極め、手づかみ食べを十分できるようにする。</li> <li>応答的なかかわりを大事にするとともに、子どもの発語や表情、指さしなどの意味を理解し、身近な物の名前や動作を言葉で伝え、共感する。</li> </ul>		
<b>家庭との連携</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>遊びや生活の中で見られる、自分でしたいという姿を家庭と共有しあい、成長の喜びを分かちあう。</li> <li>つかまり立ちや伝い歩きを始めるので、転倒・転落・誤飲などの事故につながらないように知らせていく。</li> <li>離乳食の進み具合には個人差があることを知らせ、個々の姿に合わせて一緒に考えていく。</li> <li>歩かせることを急がず、よつばいを十分にすることの大切さを伝える。</li> </ul>		

期/月		0歳児 IV期（おおむね12カ月～18カ月未満）
子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>ひとり立ちから歩き始めるようになり、少しずつ歩行が安定して長い距離を歩く。</li> <li>探索活動が活発になり、行動範囲が広がってくる。</li> <li>保育者や友だちの行動に関心を示し、かかわろうとする。</li> <li>指さしや身振り、片言などを盛んに使うようになる。</li> </ul>
【すこやか】 【つながり】 【まなびのめばえ】	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの様々な物を触って遊び、外界に対して好奇心や関心をもつ。</li> <li>安心できる保育者との関係の中で、自分の思いを安心して表現したり、やり取りしたりする楽しさを感じる。</li> </ul>
	内容（健康 人間関係 環境 言葉 表現）	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者に食べさせてもらったり、手づかみやスプーン、フォークを使ったりして楽しく食べる。</li> <li>おむつが濡れた時は、取り替えてもらい、気持ちよさを感じる。</li> <li>衣服の着脱の時、自ら袖に手を入れようとしたり、足を出したりする。</li> <li>ほぼ歩行が完成し、はいはいやつかまり立ち、伝い歩き、歩行など、全身を使って遊ぶ。</li> <li>つまむ、めくるなど、手や指を使って遊ぶ。</li> <li>保育者と物のやり取りをすることを喜ぶ。</li> <li>保育者や友だちの姿や行動に関心をもち、真似たり、かかわったりする。</li> <li>様々な経験を重ねる中で、自分の気持ちを表情や態度で表現しようとする。</li> <li>戸外に出ると様々な物に興味をもち、探索することを楽しんだり喜んだりする。</li> <li>日常生活する物の場所や自分の持ち物が分かる。</li> <li>発語が盛んになり、語彙も増える中、自分の思いを保育者に伝えようとする。</li> <li>知っている物やほしい物を指さしたり、自分の名前を呼ばれて返事をしたりする。</li> <li>保育者に自分の好きな絵本を読んでもらうことを喜ぶ。</li> <li>保育者と一緒に体を揺らしたり声を出したりして、歌や手遊び、まねっこ遊びを楽しむ。</li> </ul>
<b>保育のポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>おまるや便器での排泄に興味をもてるようにする。</li> <li>友だちに関心が高まり、玩具や場所をめぐるのトラブルも増えてくるので、子どもの興味に合わせてスペースや玩具の種類、数などを工夫したり配慮したりする。</li> <li>見守りの中、安心して遊び、見る、聞く、触るなどの五感を使った遊びを豊かに体験できる環境を整え、探索を楽しんだり、友だちとかかわって遊んだりする機会をつくるようにする。</li> <li>手づかみ食べを経験し、自分で食べたいという意欲を育てるようにする。</li> <li>指さし、表情、片言など、子どもの発見・気づきの喜びをくみ取り、自己表現を受け止め、共感して言葉に換えて伝えるようにする。</li> </ul>		
<b>家庭との連携</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>発達の個人差が見られるようになり、保護者が不安を抱きやすくなる時期なので、育ちの過程を喜びあえるように、日々の園での様子を伝えるとともに、今後の見通しがもてるようにかかわっていく。</li> <li>たたくことや噛むことが増えてくるのは、十分に言葉で表現できないためであることを伝え、子どもが何を求めているのかなど、保護者と共に考えていけるようにする。</li> </ul>		

# 夢と志を持ち、未来を創るよっかいちの子ども

1歳児

## すこやか

保育者が、一人ひとりの子どもの発達の節目に愛情深くかかわり、子どもの要求や願いに寄り添い、理解することで、子ども自身が安心感をもち、意欲的な生活を送ります。

体の発達も著しく、歩くことを喜び、よじ登る、ぶら下がるなどの動きを一人ひとりが獲得していきます。そして、子どもの自信につながり、「自分でできる」という自己発揮に向かいます。子どもの気持ちをくみ取り、言葉で表現できないことなどを手助けする親しい保育者との関係を大切にしたいと思えます。



## つながり

子ども自身が自分を大事にしてくれる保育者との信頼関係のもと、時には、友だちと思いが重なり、ぶつかりあう中で、自我を意識し始めます。周りの友だちとのかかわりを通して自己発揮します。何を言っても受け止めてくれる保育者の存在があることで、自分に自信をもち、安心感を味わい、自分の思いを主張することができるようになります。そして、自分の思いが通らない場面でも、その気持ちを代弁してもらうことで、いろいろな気持ちが育ち、その気持ちを表していいことに安心します。



自分の中の“つもり”と友だちの“つもり”が衝突を招いても、つながりたいと願う子どもの心の育ちとして、一人ひとりの思いに共感し受け止め、丁寧にかかわることを大事にしていきたいと思えます。



## まなびのめばえ

信頼できる保育者の遊びを楽しんでいる姿は、子どもにとって、とても魅力的にうつります。子どもは、安心できる保育者の姿をモデルにして、自分がまだ知らない世界・遊びに意欲を見せます。夢中になって遊ぶ経験の始まりです。繰り返し同じ物を好んだり、じっくり遊んだりする経験をしていくことを大事にしていきたいと思えます。

一人ひとりの子どもがそれぞれの遊びに向きあう姿を保障するため、



子どもの興味や関心を読み取り、自分の遊びをはじめ、物に触れたり、試したりしながら、満足して終えることができるようにしていきたいと思えます。



からだをつかって  
あそぼう



安心できる保育者や友だちと一緒に、施設周辺を歩きます。歩くことが楽しい子どもたちの気持ちを満たします。

時には、立ち止まり、何かを見つけた視線や指さしを受け止め、子どもの発見に共感し、言葉で返すことで伝えたい気持ちが育ち、思いを表現する意欲へとつながります。

期/月		1歳児 I期(4月～5月)
子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>戸惑いや不安を感じて泣くこともあるが、新しい生活や環境、人に興味をもち、室内や戸外を探索する。</li> <li>保育者に気持ちを受けてもらう中で、少しずつ新しい環境に慣れて、保育者と一緒に好きな遊びを見つけて遊ぼうとする。</li> </ul>
【すこやか】 【つながり】 【まなびのめばえ】	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい環境に慣れ、安心して食べたり、眠ったりし、要求を満たそうとする。</li> <li>保育者に親しみをもち、一緒に好きな遊びを見つける。</li> <li>春の自然に触れながら、探索活動を十分に楽しむ。</li> </ul>
	内容(健康 人間関係 環境 言葉 表現)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゆったりとした雰囲気の中で、保育者に食べさせてもらったり、手づかみやスプーン、フォークを持って食べようとしたりする。</li> <li>おむつなどに排泄したら取り替えてもらい、きれいになった心地よさを感じる。</li> <li>一人ひとりの生活リズムに応じて、保育者のそばで安心して眠ろうとする。</li> <li>着替える時に手や足を動かし、簡単な衣服を脱ごうとする。</li> <li>自由に歩いたり、移動したりすることを楽しむ。</li> <li>新しい生活の場に慣れ、保育者に親しみを感じ、触れあい遊びなどを楽しむ。</li> <li>保育者に甘えたり、やりたいことを要求したりするなど、安心して自分の気持ちを草や言葉で伝えようとする。</li> <li>「バイバイ」「ありがとう」など、保育者と一緒に簡単なあいさつをする。</li> <li>園内や戸外の散策を保育者と一緒に楽しみ、春の自然に触れてみようとする。</li> <li>身近な環境の中で探索活動を十分に楽しむ。</li> <li>気に入った玩具を見つけて一人遊びを十分に楽しむ。</li> </ul>
<b>保育のポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの生活リズムや発達を把握し、新しい環境の中で、少人数で安心できるように場面に応じて、様々な手立てを考え、子どもの不安や欲求、甘えを受け止め、スキンシップを十分にとり、信頼関係を築いていく。</li> <li>子どもが興味をもって遊べるよう、発達に応じた玩具を設定しておく。</li> <li>子どもの月齢差を踏まえ、一人ひとりの子どもの発達、発達状態に合わせてかかわったり、少人数で遊べる環境をつくったりして、丁寧に姿を見守り、生活や遊びを充実させるようにする。</li> <li>手づかみ食べ(自分で食べる行為)を大切に、「自分でやりたい」「自分でできた」と意欲や行為が形成されていくようにする。</li> <li>指さしや片言などでの意思表示を受け止めて共感したり、意味付けしたりし、発語につながる言葉がけやかかわりを大切にする。</li> </ul>		
<b>家庭との連携</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の安心感につながるよう、送迎時など言葉をかけ、コミュニケーションを図っていく。</li> <li>連絡帳などを通して、家庭での様子を聞いたり、園での様子を伝えたりして、子どもや保護者との信頼関係を深めていく。</li> <li>感染症にかかりやすいので、事前に予防接種や既往症の把握をし、心身の状態や機嫌、食欲などから変化に気付いたことを丁寧に伝えあう。</li> </ul>		

期/月		I歳児 Ⅱ期(6月~9月)
子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>環境や園生活に慣れて、安心感をもち意欲的な姿が見られる。</li> <li>友だちや保育者のしていることに関心をもち、そばに寄って行ったり視線を向けたりすることがある。</li> <li>保育者とのやり取りを心地よく感じ、言葉を発することがある。</li> </ul>
【すこやか】 【つながり】 【まなびのめばえ】	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者に手伝ってもらいながら、簡単な身の回りのことに興味を示す。</li> <li>保育者との信頼関係を深め、友だちとのかかわりをもつ。</li> <li>保育者と一緒に、水・砂・泥などの感触に触れ、夏の遊びを楽しむ。</li> </ul>
	内容(健康 人間関係 環境 言葉 表現)	<ul style="list-style-type: none"> <li>スプーンやフォークを持って、援助されながら自分で食べようとする。</li> <li>おむつなどに排泄し、取り替えてもらうことを心地よく感じ、排泄したことを知らせようとする。</li> <li>一人ひとりの生活のリズムに応じて、安全な環境のもとで十分に午睡をする。</li> <li>保育者の援助のもと、ズボンや靴を脱ごうとしたり、帽子をかぶろうとする。</li> <li>坂道や段差など、いろいろな場所を歩くことを楽しむ。</li> <li>ちぎる、破く、なぐり描きなどの手や指先を使った遊びをする。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>保育者やクラスの友だちと一緒に遊ぶことを喜ぶ。</li> <li>要求や自分の気持ちを身振りや簡単な言葉で伝えようとする。</li> <li>簡単な指示が分かり行動することがある。</li> <li>わらべ歌遊びなどの触れあい遊びを楽しみ、人とかかわる心地よさを感じる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>水・砂・土などに触れて遊び、気持ちよさや開放感を味わう。</li> <li>室内や戸外で、触れる、試す、驚くなどの、探索活動を十分に楽しむ。</li> <li>簡単な繰り返しのある絵本や紙芝居を楽しむ。</li> <li>歌や手遊びの楽しさを感じる。</li> </ul>
保育のポイント		<ul style="list-style-type: none"> <li>気温・湿度に気を付け、一人ひとりの健康状態を十分に把握する。また、皮膚の疾患や夏の感染症に留意し、夏の時期は水分補給や衣服の調節をして、気持ちよく過ごせるようにする。</li> <li>排泄のタイミングを見て声かけをし、無理強いせず便器に慣れていけるようにする。</li> <li>「自分で」という気持ちを大切に、できないところは保育者がさりげなく手助けをしながら「できた」という満足感を味わうことや、一人遊びがじっくり楽しめるように、環境を工夫したり、子どもの興味・関心に合った玩具を設定したりする。</li> <li>楽しく食事ができるように、一人ひとりの食事量、食べ方(噛み方)、し好等を把握し、柔軟に対応していく。</li> <li>様々な体験を共有し、子どもの発見や驚きを受け止めたり、子どもの遊びに「~だね」などと意味付けしたりし、物の名前や要求する言葉、感情を表す言葉などを使えるようゆったりかかわっていく。</li> </ul>
家庭との連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>着脱、排泄など大人にしてもらっていたことに興味を示し「自分で」の思いが育ち始める時期を保護者に丁寧に伝え、子どもの姿を共有し、生活面では、着脱しやすい服装や履きやすい靴などを準備してもらう。</li> <li>夏の感染症や体調の管理など、一人ひとりの健康状態について連絡を取りあい、感染予防に努め、健康に過ごせるようにしていく。</li> <li>着替えをする機会が多くなるため、衣類を多めに用意してもらい、快適に遊べるようにする。</li> </ul>



期/月		1歳児 Ⅲ期(10月～12月)	
子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・人や物に対する関心が強まり、物をやり取りしたり、取りあったりすることがある。</li> <li>・自分でしようとするこことやしたいことが増え、様々なことを試してみようとする。</li> <li>・行動が活発になり、戸外で体を動かしたり、散歩を楽しんだりする。</li> </ul>	
【すこやか】 【つながり】 【まなびのめばえ】	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全身を使った運動遊びや、じっくりと手や指先を使った遊びをする。</li> <li>・保育者の仲立ちで、友だちとかかわり、一緒にいることを喜ぶ。</li> <li>・戸外遊びや散歩を通し、身近な秋の自然に触れ、興味をもつ。</li> </ul>	
	内容(健康) 人間関係 環境 言葉 表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スプーンやフォークを使い、様々な食べ物を食べようとする。</li> <li>・排泄したことをしぐさや言葉で知らせたり、便器で排泄したりする。</li> <li>・ズボンや靴の着脱に興味をもち、自分で着脱しようとする。</li> <li>・走る、くぐる、よじ登る、降りる、跳ぶ、ぶら下がるなど、保育者と一緒に全身を使った遊びを楽しむ。</li> <li>・身近な友だちに興味をもち、触れあったり同じことをしてみたり、一緒に過ごすことを心地よく感じたりする。</li> <li>・保育者や友だちとつもり、見立て遊びを十分に楽しむ。</li> <li>・保育者の声かけで危ないことや、やってはいけないことをやめようとする。</li> <li>・園庭や散歩先で落ち葉や木の実などに触れながら、散歩や戸外遊びを楽しむ。</li> <li>・身の回りの物に興味や関心をもち、手先を使い、引っ張る、はめる、外す、はがすなどの遊びを十分に楽しむ。</li> <li>・保育者と一緒に絵本を見たり、手遊びをしたりして、好きなフレーズを真似して楽しむ。</li> </ul>	
<b>保育のポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気候の変化に伴い、感染症などにかかりやすいため、室内の衛生管理や室温調整、手洗い、うがい、衣服の調節に気を付ける。</li> <li>・子どもの思いや要求など伝えようとしている気持ちをくみ取り、言葉に置き換えていく。「いや」「じぶんで」など自我が出てくるので、子どもがやろうとする気持ちを十分受け止め援助していくとともに、友だちと一緒にしたいという思いが満たされるように、保育者が丁寧に仲立ちをしていく。</li> <li>・全身運動が活発になるため、活動の状態に配慮し、じっくりと遊べるように安全な環境を整えていく。</li> <li>・食べ物に関心をもち自分でスプーンやフォークといった食具を使い、自分で食べるという意欲が育つように生活や遊びの場面での意欲を大事にする。</li> <li>・子どもの気持ちや感情に寄り添い、言葉を丁寧に添えて、言葉の発達を促すようかかわる。</li> </ul>			
<b>家庭との連携</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの自我の育ちや施設・家庭での様子を伝えあいながら、かかわり方を一緒に考えていく。</li> <li>・成長過程の中で、友だちへの関心が芽生え、かかわって遊ぶようになってくるため、物の取りあいなど、時にはぶつかりあうことが成長の表れであることを日頃から丁寧に知らせておく。</li> </ul>			

期/月		I歳児 IV期(1月~3月)
子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に大人のしぐさを真似し、自分でしようとする。</li> <li>・保育者や友だちと簡単なやり取りをしたり、同じように遊んだりすることを喜ぶ。</li> <li>・好きな物事が増え、それらを取り入れ生活や遊びをする。</li> </ul>
【すこやか】 【つながり】 【まなびのめばえ】	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者がかかわり、簡単な身の回りのことをしようとする。</li> <li>・様々な遊びの中で、保育者や友だちとのやり取りやかかわりを楽しむ。</li> <li>・身の回りの物事に興味をもち、探索したり、見立てたりして遊ぶ。</li> </ul>
	内容(健康 人間関係 環境 言葉 表現)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スプーンやフォークを使い自分で食べようとする。</li> <li>・排泄したことをしぐさや言葉で伝えたり、誘われてトイレに行こうとしたりする。</li> <li>・保育者に手伝ってもらいながら、簡単な衣服の着脱を自分でしようとする。</li> <li>・またぐ、くぐる、低い段から跳び降りる、追いかっこをするなど、保育者と一緒に全身を使った遊びを楽しむ。</li> <li>・保育者の仲立ちで、友だちと同じ遊びをしたり、名前を呼んだりし、親しみをもってかかわろうとする。</li> <li>・保育者に促されて、生活の中の簡単なルールや、危ないことやしてはいけないことを知ろうとする。</li> <li>・自分と友だちの持ち物の区別ができるとともに、自分の物の置き場所などが分かる。</li> <li>・身近な小動物や植物、風や氷の冷たさなどの冬の自然に触れ、戸外で十分遊ぶ。</li> <li>・保育者や友だちと遊び、身近な人の真似をしたり、身近にある物を見立てたりして遊ぶ。</li> <li>・生活や遊びの中で、保育者と簡単な言葉のやり取りをする。</li> <li>・絵本を読んでもらい、繰り返しの言葉を真似したり、保育者や友だちと一緒に手遊びしたりして楽しむ。</li> <li>・リズムに合わせて体を動かしたり、保育者の動きを真似したりして遊ぶ。</li> </ul>
<b>保育のポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・室内外の温度・湿度・換気に留意し、衣類の調整や着替え、手洗いをこまめに行い、感染症予防に努める。</li> <li>・自分でしようとする気持ちを受け止め、満足感を感じられるように援助し、自分ですることを意欲の育ちにつなげるようにする。</li> <li>・生活の体験や出来事を見立てたり、つもりになったりして遊ぶことを楽しめるようにし、言葉のやり取りへつなげるようにする。</li> <li>・5つの定点(起床・朝食・昼食・夕食・就寝)が定まり、生活リズムを身に付けるようにする。</li> <li>・子どもの思いや要求を受け止め、動作や表情、言葉で子ども自身が自分の気持ちを伝えようと思えるようかかわり、保育者にしてほしい動作を表現できるようにする。</li> </ul>		
<b>家庭との連携</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもができるようになったことや、成長した姿を保護者と一緒に喜び、進級への期待につなげていく。</li> <li>・感染症が流行する時期のため、手洗いをしっかりと行い、健康状態を把握できるよう連絡を取りあう。</li> </ul>		

## 夢と志を持ち、未来を創るよっかいちの子ども

2歳児

## すこやか

歩くことを楽しみ、走る、跳ぶなどの運動機能が高まり、体をコントロールしようとします。簡単な音楽に合わせて、体を動かすことを喜びます。自分ができること、できたことへの自信をもち、繰り返し、楽しみます。



体を動かす楽しさや喜びが感じられる経験を重ねていきたいと思います。保育者と一緒に友だちの真似をしたり、物を見立てたり、自分のやりたい遊びを広げていくことができるよう、子どもの意欲や関心に気付くことを大事にしていきたいと思います。



## つながり

自我の芽生えがさらに力強く豊かに発揮され、人や物に対して「この人が好き、このおもちゃがいい」などと、自分の意志やこだわりを主張しようとします。子どもは、一人ひとりが保育者に自分の思いを受け止めてもらうことで、「自分の好き」へつながります。



友だちへ関心を寄せ、真似たり、そばにいたりするかわりが増えます。一方で、「いや」「わたしの」などの思いがぶつかり、「自分でできる」「友だちとしたい」思いと「大人にしてほしい」「抱っこして」などの思いが子どもの中で行き交います。言葉で表現できない思いに保育者が共感し、他者の思いに触れる機会にしていきたいと思います。

まなびの  
めばえ

周りへ関心を向けるようになってくると、子どもは、身近な人や物などに興味をもち、かかわろうとします。そばに寄っていく、手をつなぐ、真似をする、など保育者や友だちと遊ぶことが楽しいと思える経験を重ねてほしいと思います。そして、

一人ひとりの遊びを認め、一緒に面白さ、驚きなどを共有していきたいと思います。

イメージをもち、「つもり」になって遊ぶことを喜びますが、時にはその“つもり”が友だちと共有できず、ぶつかりあうこともあります。遊びを楽しむモデルとして保育者が子どもたちと一緒に遊ぶことを大事にしていきたいと思います。



## からだをつかって あそぼう



体をコントロールしようとする遊びを楽しく感じるようになってきた2歳児にとって、固定遊具には、一人ひとりに応じた体の使い方が試せる魅力があります。登ったりくぐったりする遊びを通して、自分の体のイメージが育ちます。



保育者が作った車で、運転手になったつもりで遊びます。車をぎゅっと握り、腕で支え、歩くことを楽しみます。自分の体のイメージも車の中で感じます。

期/月		2歳児 I期(4月～5月)	
子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい生活や環境に関心をもち、安心できる場所を探そうとする。</li> <li>・新しい環境に戸惑いや不安を感じ、泣く姿が見られる。</li> <li>・自分の要求を言葉や態度など様々な方法で表現しようとする。</li> </ul>	
【すこやか】 【つながり】 【まなびのめばえ】	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい生活や環境に慣れ、安心して過ごし、自分の好きなことを見つける。</li> <li>・保育者と一緒に、身の回りのことをしようとする。</li> <li>・周りの物を見たり触れたりして興味や関心をもち、喜んで遊ぶ。</li> </ul>	
	内容(健康 人間関係 環境 言葉 表現)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者や友だちと一緒に喜んで食事する。</li> <li>・保育者に手伝ってもらいながら、排泄、着脱や午睡などをしようとする。</li> <li>・巧技台や遊具などを使った遊びや、戸外で体を動かして遊ぶことを楽しむ。</li> <li>・保育者や友だちとのかかわりの中で、安心して過ごし、保育者が仲立ちし、友だちに興味をもつ。</li> <li>・新しい生活の場や人に慣れ、気に入った場所や物で遊んだり、友だちのしている遊びを真似したりして、同じことをしようとする。</li> <li>・保育者と一緒に好きな遊びを楽しむ。</li> <li>・自分のロッカーや靴箱、自分の物の置き場所が分かる。</li> <li>・様々な生き物や草花などに興味をもち、見たり触れたりする。</li> <li>・水や砂など、様々な素材に触れて遊ぼうとする。</li> <li>・保育者と言葉のやり取りをし、生活や遊びの中で必要な言葉を知る。</li> <li>・絵本や紙芝居を喜んで見たり、読んでもらったりして楽しむ。</li> <li>・歌や音楽に合わせて手遊びやリズム遊び、体操をする。</li> </ul>	
<b>保育のポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めての環境や保育者に、不安や戸惑いを感じていることを十分理解し、様々な態度で表す子どもの気持ちを丁寧に受け止め、信頼関係を築く。</li> <li>・一人ひとりの持ち物や場所にマークを付け、安心感がもてるようにする。</li> <li>・好きな遊びを見つけ満足して遊べるよう、玩具やコーナーを用意し、ゆったりと遊ぶ時間を保障する。</li> <li>・個々の食事、排泄、睡眠などが安心してできるよう、一人ひとりの生活習慣やリズムを踏まえて、個々にあった見守りや対応をする。</li> <li>・友だちの名前など、生活や遊びの中で必要な言葉を知らせ、保育者に伝えたい気持ちを受け止めていくようにする。</li> </ul>			
<b>家庭との連携</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園での様子を、送迎時や連絡帳などを活用して伝えあう。</li> <li>・困っていること、不安なことなどをいつでも一緒に考えていけるよう信頼関係を築き、対話を大切にしていける。</li> </ul>			

期/月		2歳児 Ⅱ期(6月～8月)
子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一日の生活の流れが分かるようになり、安心して過ごす。</li> <li>・好きな固定遊具や運動遊具を見つけ、遊ぼうとする。</li> <li>・友だちや保育者と共に、関心をもったことをする。</li> </ul>
【すこやか】 【つながり】 【まなびのめばえ】	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な身の回りのことを自分でやってみようとする。</li> <li>・保育者と一緒に好きな遊びをしたり、友だちとかかわりながら遊んだりする。</li> <li>・砂、水（プール、水遊び）、泥などの感触を全身で味わい、十分に遊ぶ。</li> </ul>
	内容（健康 人間関係 環境 言葉 表現）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スプーンやフォークを使って食べ、友だちと一緒に食事することを楽しむ。</li> <li>・簡単な衣服の着脱を保育者に手伝ってもらいながら、自分でしようとする。</li> <li>・保育者の誘いで、トイレで排泄しようとする。</li> <li>・保育者に見守られながら、安心して眠る。</li> <li>・歩く、走る、登る、降りるなどの運動や段差のある場所での遊びを通して、十分に体を動かすことを楽しむ。</li> <li>・保育者に自分の思いを受け止めてもらい、安心して過ごす中で、友だちへの興味関心が広がる。</li> <li>・お気に入りの物やお気に入りの場所を見つけ、安心して過ごそうとする。</li> <li>・「おはよう」などの簡単なあいさつをする。</li> <li>・簡単な指示が分かり、行動しようとする。</li> <li>・様々な生き物や草花などに興味をもち、見たり触れたりしようとする。</li> <li>・水・砂・泥など、様々な素材に触れたり、使ったりして楽しむ。</li> <li>・保育者との言葉のやり取りを楽しむ。</li> <li>・子どもの興味のある絵本や、繰り返しのある絵本や紙芝居を楽しむ。</li> <li>・歌や音楽に合わせて手遊びやリズム遊びなど楽しむ。</li> </ul>
<b>保育のポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの健康状態を把握し、適切な休息や水分が取れるようにしたり、清潔で心地よい環境を整えたりしていく。</li> <li>・怪我、事故の予防のために、子どもの目線で動線を考えて遊具などの点検や配置を行う。</li> <li>・自分でしようとする気持ちを大切に、ゆったりとかかわるとともに、一人ひとりの遊びや興味を理解し、保育者が仲立ちし、友だちとかかわれるようにする。</li> <li>・一緒に楽しく食事をしながら、体調や食事量、食具の使い方などの一人ひとりの子どもの姿に合わせて、丁寧に対応していく。</li> <li>・生活や遊びの中で友だちの名前を呼んだり、話したりしたい気持ちを受け止め、保育者が代弁し、周りの人に言葉や思いが伝わる喜びが感じられるようにする。</li> </ul>		
<b>家庭との連携</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おしゃべりが盛んになってくるが、焦らないように個人差が大きいことを知らせ、表情や仕草から気持ちをくみ取り、言葉にして返したり、言葉を補ったりするなど、具体的な受け止め方やかわり方を伝えていく。</li> <li>・暑い時期なので、気を付けたいことや夏に多い感染症などについて保護者に伝え、家庭でも子どもの様子に留意するよう知らせ、連携していく。</li> </ul>		

期/月		2歳児 Ⅲ期(9月～10月)	
子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な体を使った遊びを楽しむこともある。</li> <li>・ 友だちと自己主張によるぶつかりあいも多いが、保育者の仲立ちにより、相手の気持ちに気付く姿が見られる。</li> <li>・ 保育者や友だちと一緒に見立てやつもり遊びをする。</li> </ul>	
【すこやか】 【つながり】 【まなびのめばえ】	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戸外で体を十分に動かして遊んだり散歩に行ったりし、体を使った遊びを楽しむ。</li> <li>・ 保育者や友だちとのかかわりの中で、自分の思いや要求を伝えようとする。</li> <li>・ 身近な大人の言葉や行動を真似し、見立て遊びやつもり遊びを楽しむ。</li> </ul>	
	内容(健康) 人間関係 環境 言葉 表現)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友だちと一緒に楽しく食事をし、様々な食べ物を食べてみようとする。</li> <li>・ 尿意、便意を知らせ、自分からトイレに行こうとする。</li> <li>・ 保育者に見守られながら、自分で衣服や靴の着脱をしようとする。</li> <li>・ 保育者に促されながら、自分の物の簡単な支度や片付けをする。</li> <li>・ 様々な遊具や用具に触れながら、戸外で十分に体を動かすことを楽しむ。</li> <li>・ 走る、両足ジャンプ、登る、くぐるなど、様々な体を動かそうとする。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育者が仲立ちとなり、友だちとやり取りをしながら、ごっこ遊びや見立てやつもり遊びを楽しむ。</li> <li>・ 友だちとかかわり、ぶつかりあいや遊びの中で、保育者を仲立ちとして、自分の思いを保育者に丁寧に受け止めてもらい安心する。</li> <li>・ 簡単な手伝いを喜んでする。</li> <li>・ 生活や遊びの中で、してはいけないことや危険なことなどを知る。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身近な虫や草花などに興味を示し、集めたり、探したりする。</li> <li>・ 楽しかった経験を自分なりの言葉で伝えようとする。</li> <li>・ 指先を使う遊びを楽しんだり、はさみやのりなどの用具を使うことに関心を持ち、保育者と一緒に使ったりする。</li> <li>・ 様々な容器や袋、布、ひも、箱などを使い、一人でじっくりと繰り返し遊ぶ。</li> <li>・ 保育者や友だちと一緒に歌ったり、音楽に合わせて体を動かしたりして遊ぶ。</li> </ul>	
<b>保育のポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 季節の変化、気温や体調に合わせて、活動に応じて、快適に過ごせるよう環境を整える。</li> <li>・ 一人ひとりの興味や発達状況を考え、全身を使った遊びを活発に行えるように、安全に配慮し、遊具や道具の設定を工夫する。</li> <li>・ 自分でしようとする気持ちを認め、自分なりにできたと思えるようかかわり、次の意欲につなげたり、相手の気持ちに気付き、友だちや保育者とイメージを共有して遊べるようにしたりする。</li> <li>・ 友だちや保育者と一緒に食べる楽しさを感じられるようにする。</li> <li>・ 様々な遊びを体験し、興味や関心を広げ、子ども自身が聞いてみたいと思えることを増やし、「なぜ?」「どうして?」と疑問に思う子どもの好奇心に丁寧に寄り添っていくようにする。</li> </ul>			
<b>家庭との連携</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 何でも自分でやりたがり自己主張が増えるが、温かく受け止められるように、自我の育ちであり子どもの気持ちの揺れも大切な成長の過程であることを知らせていく。</li> <li>・ 気温や活動に応じて調整しやすい衣服を用意してもらったり、活動量が増え疲れやすくなるので、家庭でも十分に休息をとってもらったりする。</li> </ul>			

期/月		2歳児 IV期(11月~12月)
子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>走る、跳ぶ、登るなど、様々な動きのある遊びをする。</li> <li>友だちと一緒にいることや同じことをすることを喜ぶことがある。</li> <li>戸外で、木の実や葉っぱなどを集めたり、形や大きさを比べようとしたりする。</li> </ul>
【すこやか】 【つながり】 【まなびのめばえ】	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの簡単なことを少しずつ自分でしようとする。</li> <li>保育者や友だちと言葉のやり取りをし、思いを自分なりの言葉で表そうとする。</li> <li>経験したことや興味・関心のあることを表現する。</li> </ul>
	内容(健康) 人間関係 環境 言葉 表現)	<ul style="list-style-type: none"> <li>スプーンやフォークを使い、様々な食べ物を少しずつ食べようとする。</li> <li>尿意や便意を感じたら保育者に知らせ、トイレで排泄しようとする。</li> <li>保育者と一緒に脱いだ服をたたんだり、片付けたりしようとする。</li> <li>保育者の援助を受けながら、「ブクブクうがい」や「ガラガラうがい」を場面に応じて行う。</li> <li>歩く、走る、またぐ、登る、跳ぶ、押す、ぶら下がるなどの動きを楽しむ。</li> <li>ボールを蹴る、投げる、転がす、受けるなどして遊ぶ。</li> <li>三輪車に乗ったり、ブランコや滑り台などを使ったりして遊ぶ。</li> <li>保育者や友だちと簡単なごっこ遊びを楽しむ。</li> <li>保育者や友だちと鬼ごっこやかくれんぼなどで同じ役になって遊ぶ。</li> <li>よいことや悪いことの区別が少しずつ分かるようになる。</li> <li>「入れて」「貸して」など、遊びや生活に必要な言葉を知り、伝えようとする。</li> <li>保育者の援助を受けながら、遊びの中で順番や交代をしようとする。</li> <li>保育者と一緒に簡単なルールのある遊びをしようとする。</li> <li>戸外へ出掛け、葉っぱや木の実を見つけたり集めたりして、秋の自然を楽しむ。</li> <li>身の回りの音、色、匂い、量などに気付き、興味をもつ。</li> <li>少しずつ身の回りの色や形の変化、大小、長短、数などに気付く。</li> <li>保育者や友だちに自分のしたことや思ったことを自分なりに伝えようとする。</li> <li>好きな場面を再現することを楽しむ。</li> <li>保育者や友だちと音楽に合わせてリズムカルに体を動かすことを喜ぶ。</li> </ul>
<b>保育のポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>季節の変化や体調に合わせて衣服や室温の調節をし、健康で快適に過ごせるようにする。</li> <li>尿意を伝えてきた時には、受け止め、一人ひとりに応じ、パンツやズボンを下げる位置など、丁寧に知らせていく。</li> <li>自分でしようとする意欲を受け止め、満足感や自信をもたせるようにし、子どもの気付きを保育者が言葉に置き換えたり、共感したりし、より興味が深まるようにしていく。</li> <li>食事の仕方や新しい食べ物の味覚の幅を広げられるよう、友だちと一緒に食事をする。</li> <li>経験したことを一人ひとりの表現で伝えようとする気持ちを受け止め、保育者が丁寧に応答しながら話したい気持ちを育てていくようにする。</li> </ul>		
<b>家庭との連携</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>感染症が流行しやすい時期となるため、手洗いやうがいの大切さを保護者にも伝えていき、家庭でも取り組めるようにしていく。</li> <li>生活や遊びの様子を発信していき、子どもの姿を家庭と共有していく。</li> </ul>		



期/月		2歳児 V期(1月～3月)
子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りの簡単なことを自分ですることがある。</li> <li>・走る、跳ぶ、登るなど、様々な動きのある体を使った遊びをする。</li> <li>・思ったことや感じたことなどを自分なりの言葉で伝えることがある。</li> <li>・見立て、つもり遊びなどを盛んにしようとする。</li> </ul>
【すこやか】 【つながり】 【まなびのめばえ】	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で簡単な身の回りのことをし、進級を楽しみにする。</li> <li>・保育者や友だちとごっこ遊びを楽しんだり、簡単なルールのある遊びをしたりする。</li> <li>・興味のあることや経験したことを、自分なりに好きなように表現する。</li> </ul>
	内容(健康) 人間関係 環境 言葉 表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スプーンやフォークを正しく持とうとし、こぼさず食べようとする。</li> <li>・衣服の着脱などを自分でしようとする。</li> <li>・保育者と一緒にトイレに行き排泄をしようとしたり、自分でしようとしたりする。</li> <li>・手洗いやうがいなど、生活に必要な習慣を身に付けようとする。</li> <li>・冬の自然に触れながら、散歩に出かけたり、戸外で体を十分に動かして遊んだりする。</li> <li>・友だちや保育者と集団遊びを楽しみ、簡単なルールを守ろうとする。</li> <li>・できるようになったことや大きくなったことを認められ、進級することを楽しみに待つ。</li> <li>・保育者との仲立ちのなかで玩具や遊具を順番に使ったり分けあったりするなど、貸し借りをしながら使おうとする。</li> <li>・冬の自然(雪・氷・霜・柱など)に興味をもち、触れて遊んだりする。</li> <li>・思ったことや感じたことを自分なりの言葉で伝えたり、保育者や友だちと言葉のやり取りをしたりする。</li> <li>・生活に必要な簡単な言葉が分かり、使おうとする。</li> <li>・繰り返しの言葉や、様々なやり取りが出てくるお話の面白さを感じ、喜んで聞く。</li> <li>・様々な素材や用具を使い、保育者に手伝ってもらいながら、描いたり作ったりして表現しようとする。</li> </ul>
<b>保育のポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防寒着は、子どもが自分で始末しやすい場所を用意し、うがいや手洗いなどを毎日の繰り返しの中で身に付け、健康に過ごせるようにする。</li> <li>・全身を使った遊びができるように安全な環境や、粘土、ひも通し、ままごと、パズルなど、遊びの中で手先をしっかりと使って遊べるような環境を整える。</li> <li>・進級に期待と安心感をもてるように、一人ひとりの子どもの姿を受け止め、園内で共有していく。</li> <li>・友だちへの関心が高まり、一緒に食事をするを喜び、模倣したり、見本にしたりし、つながりを育てるようにする。</li> <li>・保育者の話に興味をもてるように、話の内容や伝え方を工夫し、ごっこ遊びなどを通して、言葉のやり取りの面白さが感じられるようにする。</li> </ul>		
<b>家庭との連携</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進級後の園と家庭の連絡方法や持ち物などの変更点を伝え、保護者も安心して移行できるようにする。</li> <li>・具体的な姿から一人ひとりの子どもの成長を伝え、喜びあい、進級への期待や安心感をもてるようにする。</li> <li>・集団生活の中での子どもの成長や子ども同士のかかわり方など、3歳児での成長につながっていくことを伝える。</li> </ul>		

# 夢と志を持ち、未来を創るよっかいちの子ども

3歳児

## すこやか

全身運動をさらに巧みにしようとする姿が育ち、バランスをとろうとし、片足立ちやケンケン、ボールを蹴るなど、遊びが広がり始めます。また、遊具や用具などを使い様々なことをやってみようとしています。体を動かすことがうれしく、友だちとかわり、遊びます。そして、遊びを通して、体を動かすイメージが育ち、コントロールしようとするこも育ってきます。自己発揮し、意欲的に遊べるよう、自信をもち、繰り返し遊びたくなるような遊びを保育者と楽しめるようにしていきたいと思ひます。



## つながり

友だちへの関心が育ち、友だちがしていることに興味をもち、一緒に遊んだり、生活したりすることを好みます。一緒に遊んでいるようで、一人ひとりのイメージや見立ては多様で、同じことをしながら、自分の遊びに集中しています。時には、自分のイメージと友だちのイメージが違ふことでぶつかりあい、自分の思いを言葉で伝えようとしたり、強く主張しようとしたりします。保育者が一人ひとりの子どもの気持ちを受け止め、共感し、代弁し、じっくりかわることで、お互いの気持ちに気付いていきます。保育者との応答的な関係を土台とし、順番や交代、貸し



借りなどの簡単なルールを知り、自分以外の人の思いを考えられるように丁寧に仲立ちしていくことを大事にしていきたいと思ひます。



## まなびのめばえ

保育者に遊びで発見したこと、見つけたことを「これ、みてみて」と見せに來たり呼びに來たりします。また、困ったことがあると、そばにいる保育者に知らせます。保育者との信頼関係をもとに、自分の思いを發揮し、自信をもち、遊びを楽しみます。遊びの中身も、イメージが豊かになり、なりきったり、模倣し、ごっこ遊びをしたりします。保育者が仲立ちしながら、友だちとやり取りし、遊びの満足感を得られるようにかかわることを大事にしたいと思ひます。道具を手先で使い、作ったり、描いたり、保育者がかわり、遊びの楽しさを味わいます。その遊びを通して、「なぜ」「どうして」と思ったことをつぶやいたり、保育者に聞いたりして安心し、繰り返し遊ぶ経験を増やしていきます。



からだをつかって  
あそぼう



保育者や関心を寄せる友だちと一緒に、活発に遊ぶことを楽しみます。

遊具や用具を使い、体を動かし、握る、またぐ、登る、揺れるなど、様々な動きを試し、遊びます。

体を使い遊び込むことで、友だちと共感しあうことや、イメージを膨らませた遊びに発展させていきます。

期/月		3歳児 I期(4月～5月)
子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい生活や環境に期待と共に不安や戸惑いを感じているが次第に緊張がほぐれていく。</li> <li>・生活に慣れはじめると、身の回りのことを保育者と一緒に行うようになる。</li> <li>・周りの玩具、遊具に興味を示し、自分のやりたい遊びを見つけ楽しむようになる。</li> </ul>
【すこやか】 【つながり】 【まなびのめばえ】	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい環境に慣れ、安心して過ごし、身の回りのことや園での生活の流れを知る。</li> <li>・保育者や友だちに親しみを持ち、自分のしたい遊びや安心できる場所を見つける。</li> <li>・遊びや生活に必要な約束やきまりを知る。</li> </ul>
	内容(健康 人間関係 環境 言葉 表現)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣などの園生活の仕方を知り、身の回りのことを保育者と一緒に行うようしたり、自分でしようとしていたりする。</li> <li>・新しい環境に慣れ、園生活の流れを知り、安心して過ごす。</li> <li>・保育者や友だちと一緒に戸外で体を動かして遊ぶことを楽しむ。</li> <li>・保育者や友だちと触れあい、同じ場所で遊んだり、好きな遊びをしたりし、安心感をもつ。</li> <li>・自分の思いを簡単な言葉や態度で表す。</li> <li>・自分でしようと思う気持ちを保育者に受け止めてもらい、やってみようとする。</li> <li>・自分のロッカーや靴箱などの自分の場所が分かり、安心する。</li> <li>・草花を摘んだり小動物を見つけたりするなど、身近な春の自然に触れて楽しむ。</li> <li>・砂や泥などの素材に触れ、感触を味わう。</li> <li>・集団生活や遊びの中で必要な言葉やきまりを知る。</li> <li>・絵本を読んでもらったり、手遊びをしたり、歌を歌ったりすることを楽しむ。</li> <li>・身近な素材や用具に興味を持ち、描いたり作ったりして遊ぶ。</li> </ul>
<b>保育のポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい環境に慣れて、一人ひとりが安心して園生活が送れるよう、家庭環境、生育歴などを把握する。</li> <li>・怪我や事故を予防するために、子どもの目線で動線を考えたり遊具の点検を行ったりして環境を整え、園内のいろいろな場所や部屋、園庭や遊具や玩具の使い方など、一人ひとりの姿に合わせて丁寧に伝えるようにする。</li> <li>・友だちに関心をもてるように、保育者が仲立ちし、それぞれの思いを受け止め安定して過ごせるようにする。</li> <li>・食生活に必要な基本的な習慣・マナーを知らせ、自分自身でやってみようとする気持ちを育てるようにする。</li> <li>・集団生活や遊びの中で必要な言葉を繰り返し知らせ、あいさつや適切な言葉に気付き、保育者や友だちに話しかけようと思えるようにする。</li> </ul>		
<b>家庭との連携</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園での子どもの様子を丁寧に伝えたり家庭での子どもの様子を聞いたりしながら信頼関係を築き、保護者の安心につながるようコミュニケーションを図る。</li> <li>・保護者と話す中で、寝る・起きる・食べる等の生活リズムを整えることが子どもの健やかな成長につながることを共有し、園と家庭が密に連携をしていく。</li> </ul>		

期/月		3歳児 Ⅱ期(6月～8月)
子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>生活の流れが分かりはじめ、身の回りのことを自分ですることがある。</li> <li>様々な遊びに興味をもち、友だちのしている遊びをやってみようとする。</li> <li>自分のしていることを保育者に見てほしいと思い、見てもらうことで満足する。</li> </ul>
【すこやか】 【つながり】 【まなびのめばえ】	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りのことを自分でしようとし、できた満足感を味わう。</li> <li>保育者や友だちと一緒に遊び、約束やルールを知る。</li> <li>水・砂・土・泥などの感触を楽しんだり、開放感を味わったりする。</li> </ul>
	内容(健康) 人間関係 環境 言葉 表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者や友だちと楽しく食事をする。</li> <li>保育者に見守られ、身の回りのことを自分でしようとしたり、保育者の言葉かけにより、午睡や休息、水分補給をしたりする。</li> <li>戸外で遊ぶことを喜び、保育者や友だちと一緒に走ったり、気に入った遊具を使って遊んだりする。</li> <li>保育者や友だちと同じことをしたり、そばで真似したりし、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。</li> <li>面白かったことや自分のしてほしいこと、困っていることなどを保育者に伝え、思いを受け止めてもらい安心する。</li> <li>異年齢の友だちとの触れあいを通して、遊びに興味をもったり、真似て遊んだりしようとする。</li> <li>保育者や友だちと一緒に小動物の様子を見たり、草花を取ったり、触ったりする。</li> <li>砂や水など様々な素材を使って変化を楽しみ、イメージを膨らませ、遊びを楽しむ。</li> <li>絵本などの読み聞かせを通して、言葉の響きや繰り返しの面白さを感じ、見たり聞いたりする。</li> <li>音楽やリズムに合わせ、体全体で表現しようとする。</li> </ul>
<b>保育のポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>適切に水分補給や休息がとれるよう環境を整え、個々の体調を把握し、異常を感じたら速やかに対応する。</li> <li>子どもの興味関心を引き出す環境を整え、意欲的に遊べるようにする。</li> <li>保育者が仲立ちし、一人ひとりの思いに寄り添い、代弁したり、共感したりしながら、簡単なルールやきまりを知らせるようにし、友だちと遊ぶ楽しさを味わえるようにする。</li> <li>友だちと一緒に、様々な食材や調理形態を知り、食べてみようとする意欲を大事にする。</li> <li>自分の気持ちや表現を受け止めてもらうことで、保育者の話を聞こうとし、興味をもって話を聞く態度や保育者の真似をして話そうとする姿につながるようにかかわる。</li> </ul>		
<b>家庭との連携</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>日頃から、友だちとかかわる姿や親しい姿を伝えたり、自分や友だちの気持ちを知っていく過程で思いの相違から衝突した姿を丁寧に伝えたりし、情緒の育ちを共有していけるようにする。</li> <li>活動も活発になり、気候も発汗につながる季節である。家庭での過ごし方や体調面について連携をとり、健康に過ごせるようにする。</li> </ul>		

期/月		3歳児 Ⅲ期(9月～10月)
子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一日の流れが分かり、生活に必要なことを自分でしようとするが増える。</li> <li>・保育者や友だちとかかわりながら好きな遊びを楽しむようになる。</li> <li>・友だちとかかわり、自分の思いと友だちの思いが行き違うことがある。</li> <li>・身近な環境を取り入れ、イメージをもち、保育者や友だちと遊ぼうとする。</li> </ul>
【すこやか】 【つながり】 【まなびのめばえ】	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の流れを意識し、身の回りのことをしようとする。</li> <li>・保育者や友だちと一緒に、走る、跳ぶ、渡る、くぐるなど、体を動かして遊ぶ。</li> <li>・身近な環境に関心をもち、約束やルールを守り、かかわろうとする。</li> </ul>
	内容(健康) 人間関係 環境 言葉 表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者や友だちと楽しく食事をし、様々な食べ物を食べようとする。</li> <li>・生活の流れを知り、進んで、手洗い・うがい、衣服の着脱、排泄など、身の回りのことをしようとする。</li> <li>・戸外で体を動かし、様々な遊具や用具で遊ぶことを楽しむ。</li> <li>・走る、跳ぶ、くぐる、渡る、歩くなど、体を使い遊ぶことを喜ぶ。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりのイメージをもち、友だちと一緒に遊び、簡単なやり取りを楽しむ。</li> <li>・友だちと様々な遊びを通して、自分の思いを伝えようとしたり、友だちの思いを感じたりする。</li> <li>・生活や遊びの中で、順番や交代などの約束やルールを知り、守ろうとする。</li> <li>・異年齢児のしていることに関心をもって見たり、真似をしたりして楽しむ。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・虫や草花や木の実に興味をもち、探す、触る、集めることなどを通して、遊びに使うようとする。</li> <li>・興味をもった遊びや好きな遊びを繰り返し楽しむ。</li> <li>・絵本や紙芝居を見たり読んでもらったりすることを楽しみにする。</li> <li>・音楽やリズムに合わせて体全体で表現する楽しさを味わう。</li> <li>・身近な物や遊具に興味をもち、好きなように描いたり作ったりして遊ぶ。</li> </ul>
保育のポイント		<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の変化・気温や体調に合わせ、活動に応じて、快適に過ごせるよう環境を整え、休息を十分にとれるようにする。</li> <li>・運動用具や様々な道具などを使い、遊びが楽しめるよう環境を整え、安全に配慮する。</li> <li>・一人ひとりの子どもの様々な活動に向けての思いに寄り添い、自分でできた満足感を味わえるようにする。また、クラスのみんなで遊ぶのが楽しいと感じられるように、環境構成や雰囲気づくりを工夫する。</li> <li>・食事に対する基本的な習慣や態度が身に付くように丁寧にかかわるようにする。</li> <li>・子どもの疑問や質問に対して丁寧に応じ、話すことや聞くことを楽しみ、喜んでやり取りしようと思えるようにする。</li> </ul>
家庭との連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びの運動量が増える様子を伝えながら、気温や活動量に合わせた衣服を用意してもらったり、体調に配慮してもらえようにしたりする。</li> <li>・自分でしようとするが増えてきている反面、時にはやってほしい気持ちで揺れ動く子どもの思いを家庭と共有し、子どもへのかかわりを伝えていく。</li> </ul>

期/月		3歳児 IV期(11月~12月)
子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>生活に必要なことが分かり、できることは自分でしようとする。</li> <li>自分でできることややりたいことが増え、友だちと遊ぼうとする。</li> <li>自分の思いを伝えようとするが伝わらないときは保育者に助けを求める。</li> </ul>
【すこやか】 【つながり】 【まなびのめばえ】	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活に必要なことを自分でしようとする。</li> <li>保育者や友だちと一緒に遊ぶ心地よさを感じ、様々な活動を楽しむ。</li> <li>周りの人や様々なことに関心を持ち、自分のイメージを表現し、遊ぶ楽しさを感じる。</li> </ul>
	内容(健康)	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者や友だちと楽しく食事をし、箸を使い食べようとする。</li> <li>手洗いやうがいの大切さを知り、自分でしようとする。</li> <li>戸外に出て走る、追いかけるなど、全身を動かして遊ぶことを楽しむ。</li> <li>様々な遊具を組み合わせ、体を動かすことを楽しむ。</li> </ul>
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者が仲立ちし、一人ひとりの子どもの思いを引き出し、友だちと一緒に過ごす心地よさを感じる。</li> <li>友だちとの様々な遊びを通して、自分の思いを言葉で伝えようとする。</li> <li>保育者や友だちと一緒にルールのある遊びをする。</li> <li>異年齢児のしていることに関心を持ち、触れあう。</li> </ul>
	環境 言葉 表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節の自然に親しみ、興味をもって見たり触れたりし、変化や違いに気付く。</li> <li>保育者や友だちと言葉のやり取りをし、イメージを広げ、役になって遊ぶ。</li> <li>絵本や紙芝居を通して、イメージを膨らませ、読んでもらったり、見たりすることを楽しむ。</li> <li>音楽やリズムに合わせて体を動かしたり、楽器を鳴らしたりし、表現することを楽しむ。</li> <li>様々な素材を使い、作ったり、描いたりする。</li> </ul>
<b>保育のポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>季節の変化や体調に合わせて衣服や室温の調節をし、健康で快適に過ごせるようにする。</li> <li>戸外で全身を使って遊ぶ楽しさを味わえるように、遊具を組み合わせ設定したり、身近な素材や用具を使って、興味のあることを繰り返し楽しんだりできるように、十分な素材を整える。</li> <li>一人ひとりの子どもの気持ちを十分に理解し、子どもの気持ちを代弁し、友だちとのつながりがもてるようになっていく。</li> <li>友だちとかかわりをもつ機会が増え、友だちと一緒に食事を楽しむことを味わえるようにする。</li> <li>保育者との会話を繰り返し楽しめるようにし、友だちとの言葉のやり取りにつながっていくように、保育者が必要に応じて仲立ちしながら、遊びを楽しみ、共感しあえるようにしていく。</li> </ul>		
<b>家庭との連携</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>感染症が流行しやすい時期となるため、手洗いやうがいの大切さを保護者にも伝えていき、家庭でも取り組めるようにしていく。</li> <li>友だちとの気持ちのぶつかりあいを通して、他者の気持ちの気付きにつながることを伝え、園と保護者が共通理解できるようにする。</li> </ul>		

期/月		3歳児 V期(1月~3月)
子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・もうすぐ進級することへの期待を膨らませながら、自分から行動しようとする。</li> <li>・友だちや保育者におもしろかったこと、してほしいことを言葉や態度で伝えようとする。</li> <li>・経験したことを再現するなど、友だちとごっこ遊びを楽しむ。</li> </ul>
【すこやか】 【つながり】 【まなびのめばえ】	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣が身に付き、自信をもち、進級の喜びを感じる。</li> <li>・思ったことを友だちに伝えたり、友だちの思いを聞いたりし、一緒に遊ぶ。</li> <li>・身近な環境や素材に触れ、思ったことや考えたことを表現する。</li> </ul>
	内容(健康) 人間関係 環境 言葉 表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しく食事をし、箸の使い方など、進んで気を付けようとする。</li> <li>・生活の流れを見通し、身の回りのことを自分でしようとする。</li> <li>・安全に気を付け、冬の遊びや戸外で体を動かして遊ぶことを楽しむ。</li> <li>・友だちや異年齢の子がすることに興味をもち、真似をして遊ぶ。</li> <li>・保育者や友だちに自分が経験したことや思ったことを言葉で伝えたり、友だちの話や話を聞いたりする。</li> <li>・徐々に友だちの話を聞いてみようとする。</li> <li>・生活や遊びの中で、簡単なきまりやルールを守る大切さを知る。</li> <li>・冬から春への自然に触れ、変化に気付き、体で感じる。</li> <li>・絵本や紙芝居などに親しみ、自分なりのイメージをもち、保育者や友だちと一緒に遊ぶ中で、自分なりに表現したり、簡単なやり取りをしたりして楽しむ。</li> <li>・音楽やリズムに合わせて、歌ったり、楽器を鳴らしたり、踊ったりすることを友だちと楽しむ。</li> <li>・様々な素材を使い、作ったり描いたりし、できた物を用いて遊ぶ。</li> </ul>
<b>保育のポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体調に合わせて換気・室温の調節をし、健康で快適に過ごせるようにする。また、遊具や用具の安全な使用方法を確認し、約束を守れるようにする。</li> <li>・一人ひとりの子どもの思いや表現を受け止め、気持ちに寄り添い、互いの仲立ちをし、いろいろな思いを感じたり、知ったりすることへつなげる。</li> <li>・進級することへ期待をもち、4・5歳児の遊びや姿に関心がもてるように、言葉をかけていく。</li> <li>・箸の持ち方を知り、使うことや器に手を添えることなどの食事のマナーが分かり、自分でできることを増やしていくように手助けする。</li> <li>・様々な関連に気付き、話すことが増え、思ったことを保育者や友だちに伝えたり、相手の思いを聞いたりしようと思えるよう、見守ったり仲立ちしたりする。</li> </ul>		
<b>家庭との連携</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症が流行する時期でもあるので、手洗いやうがいを家庭でも心がけてもらえるように伝えたり、生活習慣の定着につながるようにしたりする。</li> <li>・子どもの成長を丁寧に保護者に伝え、共に喜びを感じながら進級することに、期待がもてるようにする。</li> <li>・子どもの成長に合わせて、今までの活動の中で経験し成長してきたことを確認しあい、今後の見通しがもてるようにする。</li> </ul>		



# 夢と志を持ち、未来を創るよっかいちの子ども

4歳児

## すこやか

運動能力が向上し、全身のバランスを取り、スキップや片足ケンケンを連続で行ったり、遊具や用具の使い方を考え、複雑な体の動きを取り入れて遊ぼうとします。長い時間歩いて散歩することや、自然に触れる中で自分の体をコントロールしながら試したり、挑戦したりすることを楽しみます。保育者に見守られながら、友だちと一緒に考えて遊ぶことや、ルールのある遊びを通して、走る速さや歩く速さなどコントロールしながら、楽しむことが増えていきます。



## つながり

自分の興味・関心のあることや、やってみたいと思ったことなど、遊びによって友だちが変わることがあります。また、一人でじっくり遊ぶ時もあります。友だちとは、つながりが育ちつつあり、遊びで困ったことなどをすぐに保育者に相談するのではなく、自分たちで考えようとする場合があります。



理解力や言葉が育ち、自分がイメージするものが明らかになってきて、イメージ通りにできないことに不安を感じたり、友だちと主張がぶつかりあうことも増えてたりします。保育者が一人ひとりの葛藤や、気持ちを調整できずに戸惑っている思いに寄り添い、言葉で表現することを大事にしたいと思います。保育者に言葉で伝えられた安心感を味わい、友だちの気持ちへの気付きや理解を育てていきたいと思います。

## まなびのめばえ

自分の好きなこと、関心のあることを友だちと十分に楽しみ、もっと遊びたいという思いが高まっていきます。困ったことや、試したいこと、考えたことなどを解決したり、実現したりするために、一緒に遊びを楽しんでくれる保育者にヒントをもらいながら、子ども同士で、遊びを進める姿が生まれてきます。そして、とことん楽しんだ遊びを繰り返し、見通しを立てたり、イメージを共有し、遊びを展開していこうとします。



子ども一人ひとりの遊びの意欲を保育者が仲立ちし、協同的な遊びへつなげ、じっくりと考えたことを言葉で伝えあうことができるようにしていきたいです。友だちと共感しあえるように、保育者自身が遊びを楽しむこと、夢中になることも、子どもたちのまなびのめばえにつながります。

## からだをつかって あそぼう



戸外での活動は、季節に応じて、様々な工夫をし、存分に楽しみたいと思います。

鬼ごっこなどルールのある遊びを通し、ワクワク・ドキドキしながら逃げたり、追いかけたりし、走る巧みさが育ちます。

- ・だるまさんがころんだ
  - ・ゴム跳び
  - ・しっぽとり
- など

期/月		4歳児 I期(4月～5月)
子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい環境に喜んだり、緊張したり様々な姿で園生活に慣れようとしている。</li> <li>・保育者との安心した関係の中で、自分のしたい遊びをしたり、気の合う友だちと遊ぶうとしたりする。</li> <li>・身近な環境に関心を示し、遊びに取り入れる姿が見られる。</li> </ul>
【すこやか】 【つながり】 【まなびのめばえ】	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい環境に慣れ、自分なりに遊びを楽しみ、安定して過ごす。</li> <li>・生活の仕方を知り、身の回りのことなどを自分でしようとする。</li> <li>・保育者や友だちに親しみをもち、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。</li> </ul>
	内容(健康 人間関係 環境 言葉 表現)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい生活に慣れ、保育者や友だちにかかわり、安心して過ごし、身の回りのことなどを自分でしようとする。</li> <li>・遊具や用具の安全な使い方を知り、遊ぶ楽しさを味わう。</li> <li>・友だちや保育者の動きを見て、同じように体を動かそうとする。</li> <li>・保育者や友だちと一緒に好きな遊びを見つけて遊ぶ。</li> <li>・自分の思いや要求を言葉で保育者や友だちに伝えようとする。</li> <li>・友だちと生活する中で、きまりや約束を守る大切さを知る。</li> <li>・草花や虫など、春の身近な自然に触れて興味をもち、遊びの中に取り入れる。</li> <li>・砂や泥などの素材に触れ、感触を楽しむ。</li> <li>・絵本や紙芝居を読んでもらい、親しみをもち、読んでもらう心地よさを味わう。</li> <li>・手遊びをしたり、歌を歌ったり、音楽に合わせて体を動かしたりすることを楽しむ。</li> <li>・用具や材料を使って自分がイメージした物を形作ろうとする。</li> </ul>
<b>保育のポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園生活を安定して送ることができるように、一人ひとりに寄り添い、環境を整えたり、言葉がけをしたりする。</li> <li>・安心して好きな遊びが十分に行えるよう遊具や玩具を用意し、遊びの様子に合わせ、工夫できるよう環境を整える。</li> <li>・自分で持ち物の始末ができるよう、環境を工夫し、言葉をかけるようにする。</li> <li>・新しい環境に慣れ、保育者や友だちと一緒に食べる楽しさを味わえるようにする。</li> <li>・保育者から話しかけたりあいさつしたりし、心地よさを感じ、友だちと言葉で伝えあおうと思えるようにする。</li> </ul>		
<b>家庭との連携</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進級時は、保護者も不安に感じたり、戸惑ったりすることがあるので、一人ひとりの子どもの様子を具体的に伝え、安心感がもてるようにしながら信頼関係を築いていく。</li> <li>・子どもの姿を丁寧に伝え、保護者と共有できるようにする。</li> </ul>		

期/月		4歳児 Ⅱ期(6月～8月)
子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りのことが分かり、自分でしようとし、生活や遊びの中できまりや約束を気にかける。</li> <li>友だちとかかわって遊ぶ中で、自分と友だちの思いの違いに気づき、ぶつかりあうことがある。</li> <li>身近な自然や環境に関心を示し、取り入れて遊ぶ姿が見られる。</li> </ul>
【すこやか】 【つながり】 【まなびのめばえ】	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちや周りの環境に興味をもち、生活しようとする。</li> <li>好きな遊びを通して、友だちとかかわりをもち、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。</li> <li>様々な素材に触れたり、使ったりして遊びを楽しむ。</li> </ul>
	内容(健康 人間関係 環境 言葉 表現)	<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちや保育者と一緒に食事を楽しむ。</li> <li>園生活の流れが分かり、身の回りのことなどを自分でしようとする。</li> <li>汗をかいたり、汚れたりしたら自分で着替えようとする。</li> <li>登る、ぶら下がる、跳ぶなど、体のバランスや移動を取り入れ遊ぶ。</li> <li>掘る、運ぶ、積む、流すなど、用具や素材を使い、体の動きを工夫し遊ぶ。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>互いの考えや思いの違いに気づき、友だちと一緒に遊ぶ喜びを味わう。</li> <li>一人ひとりの好きな遊びがつながるように、保育者が仲立ちし、思いを受け止めてもらい、自分の遊びの過程を認められる喜びや遊び込む面白さを味わう。</li> <li>身近な遊具や用具の安全な使い方や片付け方を知り、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを味わう。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な生き物や栽培している植物などに興味や親しみをもち、触れたり、かかわったりする。</li> <li>砂・土、水などの身近な素材に触れ、開放感を味わう。</li> <li>保育者や友だちに親しみをもち、あいさつしたり、見たことや感じたことを言葉で伝えたりする喜びを感じる。</li> <li>様々な素材を使い、イメージし、工夫して作ったり、使ったりして遊ぶ。</li> <li>絵本や物語の内容に興味をもち、話を聞こうとする。</li> <li>音やリズムに気づき、友だちと一緒に歌ったり、楽器を鳴らしたり、体を動かすことを楽しむ。</li> </ul>
保育のポイント		<ul style="list-style-type: none"> <li>適切に水分補給や休息がとれるよう環境を整え、個々の体調を把握し、異常を感じたら速やかに対応する。</li> <li>安全面や衛生面などに配慮し、様々な素材を使った遊びを楽しめるように、遊びに必要な約束や身の回りのことなどが子どもにとって、分かりやすくできるような環境を整える。</li> <li>子どもたちが満足して遊べるように十分に材料を整えたり、必要に応じて数を補ったり減らしたりする。</li> <li>食生活に必要な基本的な習慣やマナーを身に付けるようにする。</li> <li>様々な場面で保育者や周囲の人の話を聞く機会をもち、分かりやすく伝えるようにしたり、共感したりし、友だちの思いや考えに気付くことにつなげていくようにする。</li> </ul>
家庭との連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの健康状態について、丁寧にやり取りし、体調管理をしていく。</li> <li>子どもが興味や関心を示したことに共感し、子どもの話に耳を傾けて思いを受け止めたり、一緒に考えたりする大切さを機会をとらえて伝える。</li> </ul>

期/月		4歳児 Ⅲ期(9月～10月)
子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戸外で全身を使った運動が活発になり、体を動かして遊びを楽しもうとする。</li> <li>・ 友だちのしていることに興味をもったり、自分のやっていることに友だちを誘ったりし、一緒に遊ぼうとする。</li> <li>・ 身近な環境にかかわり、工夫して遊んだりする。</li> </ul>
【すこやか】 【つながり】 【まなびのめばえ】	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運動遊びを通して、様々な体の動きを楽しむ。</li> <li>・ 自分の思いを出し、友だちとのかかわりを深める。</li> <li>・ 身近な環境にかかわり、興味のあることを見つけ、関心を広げる。</li> </ul>
	内容(健康) 人間関係 環境 言葉 表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水分補給や衣服の調節など、生活に必要なことに気付き、自分でしようとする。</li> <li>・ 遊具や用具を使い、様々な運動遊びを楽しむ。</li> <li>・ ルールのある遊びや競技を繰り返し、体を動かす楽しさを味わう。</li> <li>・ 友だちと一緒に遊び、自分の気持ちを言葉で伝えたり、友だちの話に関心をもって聞いたりすることを心地よく感じる。</li> <li>・ 遊びの中で、自分の思いを主張したり、友だちの思いを受け入れたりする。</li> <li>・ 5歳児の遊んでいる様子を見てあこがれ、同じようにしてみようとしたり仲間に入れてもらったりする。</li> <li>・ 安全に遊ぶことを知り、きまりやルールを守ろうとする。</li> <li>・ 身近な草花や虫に触れて、夏から秋への季節の変化に気付く。</li> <li>・ 遊びの中で、数を数えたり、大きさを比べたりすることを楽しむ。</li> <li>・ 絵本や紙芝居の展開に興味をもち、読んでもらうことを楽しむ。</li> <li>・ 音楽やリズムに合わせて歌ったり踊ったりと体を動かし、自分なりに表現することを楽しむ。</li> <li>・ 遊びに必要な物を自分なりにイメージし、作ってみようとする。</li> </ul>
<b>保育のポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気温や活動内容に応じた環境を整え、個々の体調に合わせ、休息などを取り入れ、快適に過ごせるようにする。</li> <li>・ 遊びに使う遊具を準備したり、子どもと一緒にラインをかいたりするなど、ルールのある遊びを友だちと一緒に楽しめるようにする。また、子どもの遊びに応じて、活発に遊べる環境を整え、遊具や用具の使い方や約束が理解できるよう、伝え方などを工夫する。</li> <li>・ 一人ひとりの子どもの思いや考えが、友だちや周りの人に伝わるように仲立ちし、楽しさを共有できるようにする。</li> <li>・ 苦手な食材も食べてみようと思ったり、様々な食材にチャレンジしてみようと思ったりする気持ちに寄り添うとともに、友だちと一緒に食事することを楽しめるようにする。</li> <li>・ 様々なことに興味をもち、疑問に思ったり、理由を知りたがったりする意欲を大事にし、見たこと、感じたことなどを友だちと言葉で伝えあうことの楽しさや、喜びが感じられるようにする。</li> </ul>		
<b>家庭との連携</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動や運動量が増えるとともに、夏の疲れが出やすい時期である。生活リズムを整え健康状態について連携をとっていく。</li> <li>・ 子どもが経験していることや内容などを掲示や便り等、様々な機会に保護者に伝えていく。</li> </ul>		

期/月		4歳児 IV期(11月~12月)
子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戸外で、ルールのある遊びや遊具や用具を使った遊びを楽しむ。</li> <li>・ 気の合う友だちと遊びを考え、イメージを広げ一緒に遊ぼうとする。</li> <li>・ 様々な遊びへの興味や関心が広がり、表現して遊ぶ姿が見られる。</li> </ul>
【すこやか】 【つながり】 【まなびのめばえ】	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育者と一緒にルールを考えて、体を動かして遊ぶ。</li> <li>・ 友だちと共通のイメージをもって遊び、友だちとのつながりを深める。</li> <li>・ 言葉で表現し、伝えあおうとする。</li> </ul>
	内容(健康 人間関係 環境 言葉 表現)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎日の生活の中で手洗いやうがいをし、気温や活動に合わせて身の回りのことを進んでしようとする。</li> <li>・ 戸外で体を動かして、関心のある運動遊具を使い遊んだり、友だちとルールのある運動遊びをしたりして遊ぶ。</li> <li>・ 5歳児の遊びを見たり真似したりし、一緒に遊ぶ中で挑戦しようとする。</li> <li>・ 友だちの思いを聞いたり、自分の思ったことを伝えたりするなどして、イメージを共有し、一緒に遊びを楽しんだり面白がったりすることを味わう。</li> <li>・ 遊びの中で、交代したり、順番に使ったり、譲ったりするなどのかかわりを持ち、共同の遊具や用具を大切にしようとする。</li> <li>・ 季節の自然を見たり、触れたりするなど、五感を通して変化を感じ、表現する。</li> <li>・ 絵本や歌の言葉に関心を持ち、面白いと感じたり言葉遊びをしたりする。</li> <li>・ みんなで歌を歌ったり、音楽に合わせて楽器を鳴らしたりして楽しむ。</li> <li>・ 描いたり作ったりする遊びに興味を持ち、自分なりにイメージしたことを表現する楽しさを味わう。</li> </ul>
<b>保育のポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 季節の変化や体調に合わせて衣服や室温の調節をし、健康で快適に過ごせるようにする。</li> <li>・ 様々な遊具や用具を使い、戸外遊びができるよう環境を調整し、様々な素材や自然物など、子どもたちが自分で工夫して作ったり、使って遊んだりできるように準備する。</li> <li>・ 一人ひとりの子どもの考えや挑戦している姿を受け止め、言葉をかけるなどし、自信につなげていくようにする。</li> <li>・ 食事のマナーを守れるようにし、食べることが、健康と関係があることを知るようになっていく。</li> <li>・ 相手の話に関心をもって聞くことや、言葉で伝えあうことの大切さや、伝わる喜びが感じられるように、言葉のかけ方を工夫し、時には保育者が仲立ちし、やり取りが続くようにする。</li> </ul>		
<b>家庭との連携</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染症が流行する季節なので、お便り等で健康管理について知らせたり、手洗いやうがいをこまめに行ってもらえるように伝えたりしていく。</li> <li>・ 園での生活の様子や友だちとのかかわりの様子など、成長していく中で見えてきたことを保護者と共有し、共に子育てに取り組んでいく。</li> </ul>		

期/月		4歳児 V期(1月～3月)	
子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>生活の流れが分かり、基本的な生活習慣などを自分で身に付けようとする。</li> <li>気の合う友だちに自分の思いを言葉で伝えたり、友だちが考えていることを聞いたりし、イメージを共有し、遊びを楽しむ姿が見られる。</li> <li>ルールのある遊びを楽しみ、ルールを守ろうとする。</li> </ul>	
【すこやか】 【つながり】 【まなびのめばえ】	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活に必要な習慣が身に付き、見通しをもって行動する。</li> <li>友だちとのつながりを感じ、遊びや生活を進め、進級することへの期待を膨らませ、意欲的に過ごす。</li> <li>自分たちで、遊びに必要なことなど、思いを出しあい達成感を味わう。</li> </ul>	
	内容(健康) 人間関係 環境 言葉 表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康で安全な生活に関心を持ち、自分でできることを進んでする。</li> <li>遊具や用具を使い、蹴ったり投げたりするなど積極的に体を動かすことを取り入れたり、体を温めたりし、健康で楽しく友だちと過ごす。</li> <li>友だちと一緒に、様々な遊びを考えたり、ルールのある遊びを考えたりして、思いを出しあい、遊びを工夫し楽しむ。</li> <li>5歳児の姿にあこがれを持ち、一緒に遊んだり、園全体の活動を引き継いだりし、進級することへの期待をもつ。</li> <li>氷や雪、霜などの冬の自然事象や、冬から春への自然の変化に興味を持ち、感動したり、疑問をもったり、試そうとしたりする。</li> <li>絵本や紙芝居、素話などを喜んで聞いたり、イメージを広げたりして、見立ての面白さや役になりきる楽しさを味わう。</li> <li>音楽や絵本などを通して、友だちとイメージを共有し、遊びに必要な物を作ったり、言葉や動きを考えたりし、表現することを楽しむ。</li> <li>文字や数字や形などに関心をもつ。</li> </ul>	
<b>保育のポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>体調に合わせて換気・室温の調節をし、健康で快適に過ごせるようにする。</li> <li>素材を準備し、用具の使い方に慣れるようにかかわり、工夫して作った物を使って遊べようにする。</li> <li>自分の思いを伝えたり、友だちの思いに気付いたり、互いに共感できるように仲立ちし、一人ひとりの子どもが進級することへの喜びを感じ、自信をもって生活や遊びができるようにかかわる。</li> <li>様々な食材と栄養について興味を持ち、食事のマナーの大切さに気付くとともに、進級の喜びを感じながら、友だちと楽しく食べられるようにしていく。</li> <li>物事の因果関係に興味を持ち、経験したことなどを自ら話したり、保育者や友だちの話を聞いたりすることで、言葉で気持ちを表現し、伝えあう楽しさを味わえるようにする。</li> </ul>			
<b>家庭との連携</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>感染症が流行する時期でもあるので、手洗い・うがいを家庭でも心がけてもらえるように伝えたり、生活習慣の定着につながるようにしたりする。</li> <li>子どもの成長を共に喜びあい、進級への期待につなげ、保護者が不安のないように、分からないことなどを気軽に聞くことができるよう話しかけていく。</li> </ul>			

# 夢と志を持ち、未来を創るよっかいちの子ども

5歳児

## すこやか

思う存分に体を動かし遊ぶ楽しさが分かり、積極的に、運動能力を試す遊びを友だちと共にやりきろうとする姿が増えてきます。遊具や用具を使い、自分で目標をもち、挑戦しようとして繰り返すことや、ルールやゲーム性のある遊びを好み、友だちと協力し遊びを楽しみます。繰り返し、友だちと遊ぶことを通して、全身を巧みに動かす運動能力が育っていきます。また、手先の器用さが増し、滑らかに動かしながら、工夫すようになり、巧緻性が高まる遊びへの興味が広がります。



## つながり

友だちへの意識も高まり、様々な場面で、友だちとかわりもちながら、経験を重ねていきます。集団の中での自分を意識し、友だちと比較したり、様々な価値観の中で葛藤を繰り返したりします。時には、負の経験に見えることでも、信頼できる保育者が子どものそばで否定的な思いにとらわれていくことがないように、子どもの気持ちを受け止めていくかが問われます。様々な経験が、肯定的な自己につながるようにかかわっていきたくと思います。遊びや生活の中で、子どもの思いは揺れ動きます。保育者がその気持ちの過程をとらえ、自己イメージがプラスに変化するきっかけを探っていきながら、友だちとのつながりが深まるようにしていきたいと思っています。



## まなびのめばえ

友だちの姿や保育者とのかわり、家庭や社会的な影響を受けながら、子ども一人ひとりが「こんなことがしたい」「こうしてみよう」「こんなふうになりたい」と思いを抱き、興味・関心が広がり遊びが展開していきます。その気持ちに保育者が気づき、一人ひとりの子どものあるがままを受け止め、育ってきた運動・認知などの力を子ども自身が自信をもって発揮できるようにしたいと思います。そして、友だちと考えを出しあい、工夫し、試してみることを繰り返ししようと思える遊びを大事にしていきたいと思っています。遊びの中で、友だちとイメージを共有したりできなかつたりすることで葛藤し、保育者の手助けを受け、調整する心の育ちを経て、次の遊びを生み出す創造へとつなげていきたいと思っています。





## からだをつかって あそぼう



遊具・用具を使い、自分の体をイメージし、様々なことへ挑戦しようとしています。

- ・鉄棒
  - ・竹馬
  - ・登り棒
  - ・サッカー
  - ・ドッジボール
- など

期/月		5歳児 I期(4月～5月)
子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・5歳児になった喜びを感じ、園生活に期待をもち、意欲的に行動する。</li> <li>・自分の思いを強く主張し、友だちと思いがぶつかり、考えあう姿が見られる。</li> <li>・新しい環境に関心をもち、友だちと一緒に好きな遊びを楽しむ。</li> </ul>
【すこやか】 【つながり】 【まなびのめばえ】	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5歳児になった喜びを感じ、保育者や友だちと新しい遊びや生活を楽しむ。</li> <li>・保育者や友だちとの安定した関係のもと、好きな遊びを楽しむ。</li> <li>・新しい環境に慣れ、様々な遊びに関心をもち、やってみる。</li> </ul>
	内容(健康) 人間関係 環境 言葉 表現)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の仕方や新しい環境の使い方を知り、身の回りのことなどを進んで自分でしようとする。</li> <li>・戸外での遊びに喜んで取り組み、体をのびのびと動かして遊ぶことを楽しむ。</li> <li>・進級した喜びをもち、自信をもって、自分で考え行動しようとする。</li> <li>・保育者と一緒に考えたり、自分の思いを友だちに分かるように話したり、友だちの思いや考えを受け入れたりする大切さに気付く。</li> <li>・年下の子を気にかけて、優しくかかわったり、親しみをもったりする。</li> <li>・集団生活のきまりやルールを守ることが分かり、行動する。</li> <li>・草花や虫など、春の身近な自然に触れ、美しさや不思議さを感じ、遊びや生活の中に取り入れる。</li> <li>・砂や泥などの素材の感触を味わい、それぞれの特色に気付き、遊びを楽しむ。</li> <li>・栽培や飼育を通して、変化に興味をもち、かかわろうとする。</li> <li>・絵本や紙芝居などを読んでもらい、イメージをもち、言葉の使い方に気付く。</li> <li>・友だちと一緒に、音楽に合わせて歌ったり、動いたりすることを楽しむ。</li> <li>・身近な素材や遊具を使い、自分の思いや考えを出しながら遊ぶ。</li> <li>・自分たちのやりたい遊びに必要な素材や用具を探したり、自分なりに試して遊んだりすることを楽しむ。</li> </ul>
<b>保育のポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びに応じて、遊具や用具の使い方を工夫できるよう環境を整え、危険なところや安全な過ごし方について、子どもたちに分かりやすく伝えるようにする。</li> <li>・5歳児になった喜びと不安に揺れ動く気持ちを見守り、子どもの思いを受け止めながら、安心して生活できるようにかわる。</li> <li>・年長になったことに自覚をもち、自分から進んで生活や遊びを楽しめるよう、信頼関係を築き、自分の気持ちや考えを安心して表し、情緒の安定した快適な生活ができるようにしていく。</li> <li>・保育者や友だちと一緒に食べる楽しさを味わいながら、食生活に必要な基本的な習慣、マナー、正しい箸の使い方を身に付けられるようにしていく。</li> <li>・様々な人、物、事などの環境に進んでかかわり、言葉の理解を深め、保育者や友だちとの会話を楽しむ機会を多くもち、相手に分かるように話したり、相手の話を聞いたりすることの大切さを知るようにする。</li> </ul>		
<b>家庭との連携</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進級時は、保護者も不安に感じたり、戸惑ったりすることがあるので、一人ひとりの子どもの様子を具体的に伝え、安心感がもてるようにし、信頼関係を築いていく。</li> <li>・保護者との信頼関係をもとに、子どもが自信をもてるようにすることや、就学への期待感をもって生活できるように連携を図っていく。</li> </ul>		

期/月		5歳児 Ⅱ期(6月～8月)
子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な運動遊びをしたり、水や砂、土などでダイナミックに遊んだりする。</li> <li>・ 友だちと遊ぶ中で、友だちの思いに気付いたり、自分の考えを伝えようとしたりする。</li> <li>・ 様々な環境に触れ、興味・関心をもち、試す、工夫する、調べるなど探究しようとする。</li> </ul>
【すこやか】 【つながり】 【まなびのめばえ】	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の体に関心をもち、健康で快適な過ごし方を友だちと考える。</li> <li>・ 友だちと遊びを楽しみ、必要な約束を考え、守ろうとする。</li> <li>・ 様々な環境に触れ、友だちと工夫したり、試したり、一緒に考え遊ぶ。</li> </ul>
	内容(健康 人間関係 環境 言葉 表現)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の体に関心をもち、水分補給や汗を拭く、休息をとるなど、健康な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。</li> <li>・ 水遊びでの約束事を守って、安全に気付き、友だちと遊びを楽しむ。</li> <li>・ 遊具や用具の組み合わせを友だちと考え、様々な運動遊びを楽しむ。</li> <li>・ 砂・水・泥などの素材に応じて、友だちと一緒にダイナミックに遊び、開放感を味わう。</li> <li>・ 友だちとのつながりを深め、友だちの話をよく聞いたり、相手に分かるように話そうとしたりする。</li> <li>・ やりたい遊びをする中で、友だちのしていることに関心をもち、疑問に思ったことや分からないことは尋ねるなど、自分からかかわっていきこうとする。</li> <li>・ 年下の子と一緒に遊ぶ中で優しくかかわったり、身の回りのことを手伝ったりして親しみをもつ。</li> <li>・ 梅雨時や夏の植物や生き物に触れ、親しみをもち、変化や美しさ、不思議さを感じる。</li> <li>・ 生き物の世話を通して、生命の大切さに気付く。</li> <li>・ 遊びや生活の中で、形や大小・長短などに興味をもち、自分が気付いたことを友だちや保育者に伝えようとする。</li> <li>・ 絵本や紙芝居、経験したことなどを通してイメージを広げ、友だちと一緒に言葉の意味を考える。</li> <li>・ 音楽やリズムに合わせ、歌ったり、踊ったり、合奏したりする。</li> </ul>
<b>保育のポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 着替えや汗を拭く、水分補給をするなど、自分の体調を意識しながら生活ができるようにする。</li> <li>・ 遊びが発展するよう様々な素材や遊具などの環境を整え、子どもが自ら約束を守り、安全に遊ぼうとする意識をもてるようにかかわる。</li> <li>・ 遊びや生活の中で、友だちと共感したり、伝えあえる場を整えたり、一人ひとりの子どもが考えや思いを安心して表現できるようにする。</li> <li>・ 食と健康の関係性に気付き、バランスの良い食事をとろうとし、友だちとかかわり、食事のマナーについて身に付けていこうと思えるようにしていく。</li> <li>・ 年長としての様々な体験や思い、考えを自分なりの言葉で伝える場をつくるようにし、言葉で伝えあったり、イメージしたりし、話すことの楽しさを感じ、文章の順序性などが育つようにしていく。</li> </ul>		
<b>家庭との連携</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子ども自身が自分の力で生活を進められるように、家庭と園が協力して子どもへの励ましの声かけや見守りができるようにする。</li> <li>・ 夏の生活の仕方や安全について啓発する。</li> </ul>		

期/月		5歳児 Ⅲ期(9月～10月)
子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりに考え、友だちと一緒に運動遊びをやってみる姿が見られる。</li> <li>・周りの環境を遊びに取り入れ、友だちと楽しんで遊んでいる。</li> <li>・友だちと互いに考えを出しあいながら、遊びを進めていこうとする。</li> </ul>
【すこやか】 【つながり】 【まなびのめばえ】	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりの目標をもち、進んで体を動かす楽しさを十分に味わう。</li> <li>・友だちと思いや考えを出しあい、力を合わせて遊ぶ楽しさを共有する。</li> <li>・様々な環境や事柄にかかわり、友だちと共通の目的をもち遊ぶ。</li> </ul>
	内容(健康 人間関係 環境 言葉 表現)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康に過ごすことを意識し、身の回りのことを考え、進んでする。</li> <li>・様々な運動遊びに進んで取り組み、体を動かし、充実感や達成感を味わう。</li> <li>・遊びを通して、危険なことに気付き、遊具や用具の使い方などを考え、安全に過ごそうとする。</li> <li>・友だちと一緒に遊ぶ中で相談をしたり、ルールや作戦を考えたりしながら遊びを進める楽しさを知る。</li> <li>・自分の力を発揮し、友だちのよさに気付いたり認めたりしながら遊ぶ。</li> <li>・友だちと目標に向かって力を合わせて取り組んだり、みんなでやり遂げる喜びを感じたりする。</li> <li>・秋の自然に親しみ、自然物に興味をもって観察をしたり図鑑で調べたりし、生活や遊びに取り入れる。</li> <li>・数えたり、形に気付いたりし、遊びに取り入れて楽しむ。</li> <li>・物の性質や仕組みなどに関心をもち、考えたり、調べたりする。</li> <li>・絵本や紙芝居、素話などをじっくりと聞き、イメージを豊かにし、言葉で伝えあう。</li> <li>・クラスのみんなで歌ったりダンスをしたりすることを通して、声や動きを合わせることの心地よさを感じ、みんなで表現することの楽しさを味わう。</li> </ul>
<b>保育のポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動に応じて休息をとったり、衣服の調節をしたりするなど、快適に生活できるように環境を整える。</li> <li>・意欲的な思いや健康に気を付け行動しようとする気持ちに共感し、様々な遊びや生活を楽しめるようにかかわる。</li> <li>・友だちから刺激を受けて、自分なりに目標をもち、やってみようとしたりする子どもの姿を見守るとともに、励まし、達成感や自信につなげるようにする。</li> <li>・食事の準備から後片付けまでの流れの中で、自分でできること、友だちと協力してできることを意欲的にできるようにし、食べることへの感謝の気持ちが育つようにする。</li> <li>・共通の話題について話したり、聞いたりできる場をつくり、みんなで話しあいができるよう遊び込むことや体験を重ねることを大事にする。</li> </ul>		
<b>家庭との連携</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動量が多くなるため、十分に体を休めるなど、健康管理に留意した生活を過ごせるように保護者に伝えていく。</li> <li>・子どもの姿やクラスの活動などを伝え、子どもの内面の育ちや友だちとのつながりを保護者と共有する。</li> </ul>		

期/月		5歳児 IV期(11月~12月)	
子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊具や用具の使い方を理解し、自分たちで工夫し、様々な動きを取り入れ、調整したり、試したりする。</li> <li>・自分の考えを言葉で伝えたり、友だちの思いを受け入れたりして遊びを進めようとし、意見の違いがある時は、自分たちで解決しようとする。</li> </ul>	
【すこやか】 【つながり】 【まなびのめばえ】	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な運動遊びを取り入れ、友だちと共通の目標を実現させるとともに、自分なりに最後までやりきろうとする。</li> <li>・友だちと協力したり、工夫したりし、自分たちで遊びを進める楽しさを味わう。</li> <li>・共通の話題について、みんなで話したり、聞いたりし、考えを出しあう。</li> </ul>	
	内容(健康 人間関係 環境 言葉 表現)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活のリズムや健康の大切さに関心をもち、自分でできることを進んで行い、友だちともやり取りをする。</li> <li>・友だちと一緒に遊びのルールや約束を考え、遊具や用具を組み合わせ、体を動かすことを繰り返し楽しむ。</li> <li>・友だちと共通の目的をもち、思いを出したり分かりあったりし、遊びを進めることを楽しいと感じる。</li> <li>・自分の考えと相手の考えの違いに気付き、折りあいをつけながら協力して取り組む。</li> <li>・自分たちが楽しんでいる遊びを、年下の子どもたちにも知らせながら一緒に遊ぶ。</li> <li>・自然に触れる機会をもち、自然物を使って作ったり、遊びの中に取り入れたりして遊ぶことを楽しむ。</li> <li>・遊びや生活の中で文字や数字に興味をもち、必要に応じて取り入れ、生活や遊びを工夫し、楽しむ。</li> <li>・様々な素材を活用して試したり、自分がイメージした物を工夫して作ったりする楽しさを味わう。</li> <li>・絵本や紙芝居、素話などに親しみ、言葉の響きやリズム、言葉遊びなどに関心をもち、楽しむ。</li> <li>・友だちと一緒に様々な楽器に触れて合奏したり歌を歌ったりする中で、音や声が重なりあう楽しさを感じる。</li> </ul>	
<b>保育のポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の変化や体調に合わせて衣服や室温の調節をし、健康で快適に過ごせるようにし、様々な遊具や用具を使い戸外遊びができるよう、環境を調整する。</li> <li>・素材や道具や用具、自然物などの環境構成を工夫したり、文字や数字に関心がもてるよう、環境を整えたりする。</li> <li>・困った時や、友だちと思いがぶつかった場面をとらえ、考えを出しあい、葛藤する気持ちに寄り添い、折りあいをつけ調整しようとする気持ちが生まれる過程に、丁寧にかかわる。</li> <li>・食事と体の関係に関心をもち、栄養をバランスよく取り入れることが、健康な体づくりにつながることを話しあったり、美味しい食事の雰囲気を考えたりし、みんなで楽しく食べる工夫ができるようにする。</li> <li>・「なぜ」「どうして」等と、不思議に思う気持ちを受け止めながら、子どもが自分なりに考えたり、友だちと一緒に考えたり、調べたりする大切さを知り、聞いたり、話したりすることで、周りの人と共有できる体験をしていけるようにする。</li> </ul>			
<b>家庭との連携</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症が流行する季節なので、お便り等で健康管理について知らせたり、手洗い・うがいをこまめに行ってもらえるように伝えたりしていく。</li> <li>・園での生活の様子や友だちとのかかわりの様子など、就学を意識しはじめている子どもの姿につなげ、保護者と共有し、子どもが期待をもち生活できるよう伝えていく。</li> </ul>			

期/月		5歳児 V期(1月～3月)
子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちと力を合わせ、やり遂げようと工夫し、同じ目的をもち、やってみようとする。</li> <li>言葉で伝えようとしたり、友だちの気持ちを考えたりして、自分の気持ちに折りあいをつけようとする。</li> <li>小学校への期待が高まり、遊びの中でイメージを広げて楽しもうとする。</li> </ul>
【すこやか】 【つながり】 【まなびのめばえ】	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>体や健康の大切さに気付き、必要な生活習慣を身に付ける。</li> <li>就学への期待をもち、見通しや目標をもち、遊びや生活を進めていく。</li> <li>友だちと協力し、共通の目的をもち、自分たちでやり遂げる喜びを味わう。</li> </ul>
	内容(健康 人間関係 環境 言葉 表現)	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間を意識しながら生活に見通しをもち行動しようとする。</li> <li>園生活の中で、自分で考え、場に応じた行動をする。</li> <li>遊びや生活の中で、安全に気を配りながら行動しようとする。</li> <li>戸外で友だちと一緒に、遊具や用具を巧みに使い、様々な運動遊びをし、自分の力を発揮しながら、多様な動きを楽しむ。</li> <li>みんなですることが楽しいと感じ、友だちとつながることの大切さに気付く。</li> <li>共通の目的に向かって友だちと力を合わせてやり遂げようとする。</li> <li>自分たちの成長を感じ、喜ぶとともに、周りの人への感謝の気持ちをもつ。</li> <li>年下の子へのかかわりを自分なりに考えたり、自分が知っていることを教えたり、一緒にやって見せたりする。</li> <li>氷や雪、霜など、冬の自然事象や冬から春への自然の変化に気付き、不思議さを感じ、調べたり、試したりする。</li> <li>遊びや生活の中で、文字や数字を使い、数量、形、空間などの感覚を身に付け、言葉などで表現しようとする。</li> <li>保育者や友だちに自分の話が伝わるように、順序立てて話そうとする。</li> <li>素材や遊びを工夫し、物の性質や仕組みに関心をもつ。</li> <li>園生活を振り返り、言葉や絵画などで表現しようとする。</li> <li>友だちとイメージを共有し、音楽やリズムや動き、言葉などで表現することを楽しむ。</li> </ul>
<b>保育のポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>体調に合わせて換気・室温の調節をし、健康で快適に過ごせるようにし、自分の体の成長に気付けるように環境を整えたり、言葉をかけたりする。</li> <li>時刻や時間や数量の変化に興味をもち、時間を意識したり、文字や数字に関心をもったりするよう環境を整える。</li> <li>就学への期待感や不安感など、子ども一人ひとりの気持ちを受け止め、安心して就学できるよう小学校見学や交流などを取り入れ、困った時の具体的な方法を知らせるなどの配慮をする。</li> <li>体の仕組みと食事の関係に興味を深め、食事のマナーを身に付け、小学校の給食に期待をもてるようにしていく。</li> <li>様々な人、物、事などの環境に自ら働きかけ、考えたり、学んだりしたことに自信をもち、自分のことを話すとともに、相手の話をじっくり聞く態度が育つようにする。</li> </ul>		
<b>家庭との連携</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>クラスだよりなど、保護者とかかわりを通して、園生活での子どもの姿や子どもが経験していることを丁寧に伝え、子どもの成長を共有する。</li> <li>保護者と子どもの成長を喜びあう中で、就学への期待や不安に対する子どもの気持ちを受け止め、温かくかかわっていけるようにする。</li> </ul>		

## 4 就学前教育・保育と小学校教育への接続

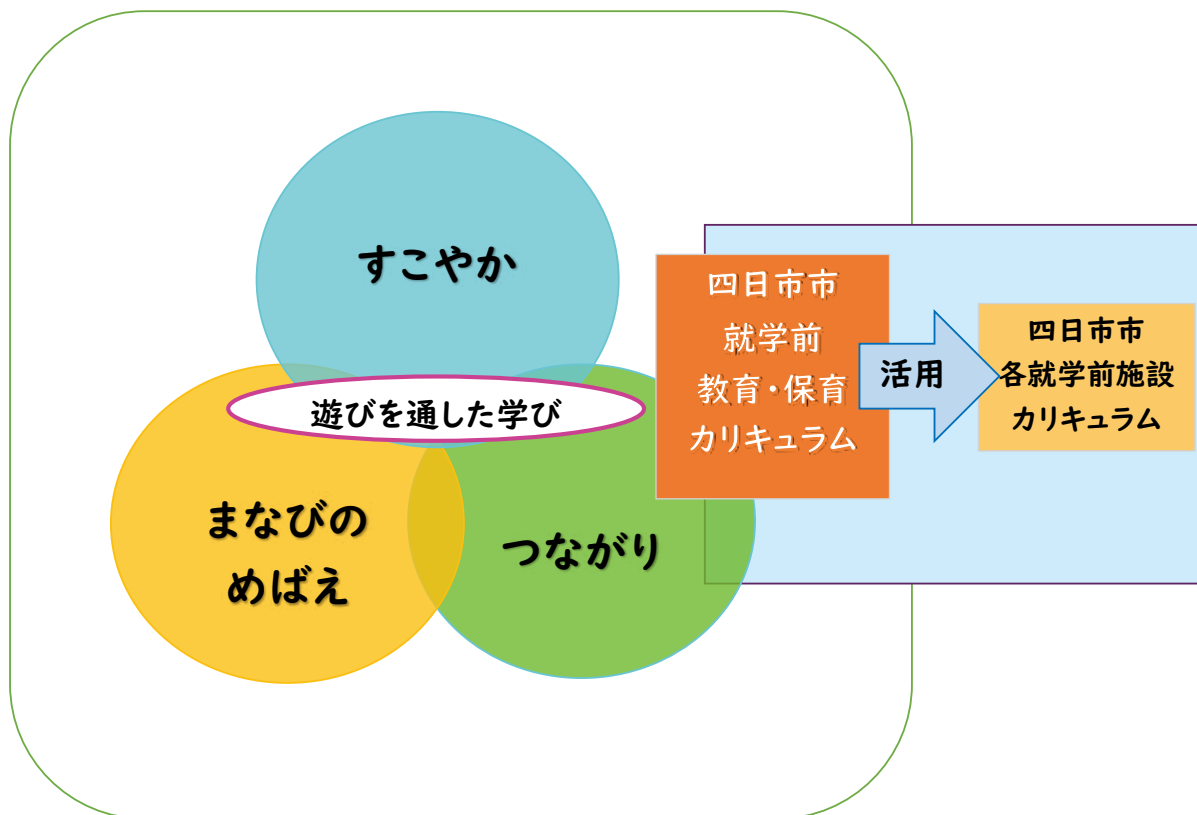
就学前教育・保育と  
小学校教育への接続

## 就学前教育・保育では・・・

「環境を通して行う教育・保育」を基本とし、一人ひとりに応じた遊びや生活を通して総合的に学んでいきます。安心と信頼感をもち、身近な環境にかかわり、遊びの楽しさや心地よさを味わい育てていくことを大切にしています。また、一人ひとりのよさを生かした子ども同士のかかわりを重視し、そのような遊びを通して協同性を育み、小学校以降の主体的な学びの土台となる非認知能力\*を高めていきます。

各就学前施設において、乳幼児期に育みたい資質・能力を培う教育・保育内容、方法の充実を図っていききたいと思います。

\* 非認知能力…一般的に知能検査等、数値で測定できる認知能力に対し、意欲、自信、忍耐、自立、自制、協調、共感などの数値では測定できない能力のことをいう。コミュニケーション能力や粘り強くやり抜く力、自分自身を調整する力などが含まれる。「第4次四日市市学校教育ビジョン」より引用



保育の5領域「健康・人間関係・環境・言葉・表現」での実践を基本とし、四日市市がめざす就学前の子どもの姿を「すこやか」「つながり」「まなびのめばえ」の3つのキーワードで計画を見直し、実践を振り返り、子どもたちの生活や遊びを豊かにしていきたいと思っています。



### 就学前教育・保育から小学校教育への円滑な接続をめざして

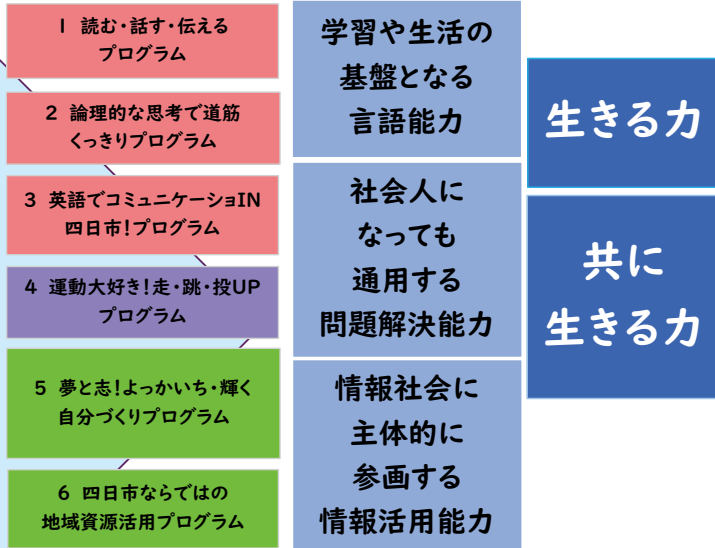
子ども一人ひとりの育ちや学びは、幼児期と児童期とで切れ目はなく、つながっていくものです。遊びや生活を中心とする就学前教育・保育と系統的な教科等を学習する小学校教育とでは教育課程の構成原理や指導方法等が異なるように、子どもの発達の段階に応じた教育を行う上で必要な違いがあります。これらの違いを認識しながら学びの連続性を保障し、質の高い教育・保育を進める取り組みが求められています。

そこで、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに理解を深め、就学前教育・保育で育まれた資質・能力を小学校以上の教育で育成すべき資質・能力につなげることが重要であり、そのために円滑な接続が図られるよう、具体的な手だてを考えていきたいと思います。



#### 四日市市独自の教育プログラム 6つの柱の構成

#### 四日市市がめざす子どもの姿



夢と志を持ち、  
未来を創る  
よっかいちの子ども

※四日市市では、就学前から中学校まで6つの柱で構成される一貫した考え方による教育プログラムを展開しています。  
詳しい情報は右のQRコードを読み取っていただきますようお願いいたします。

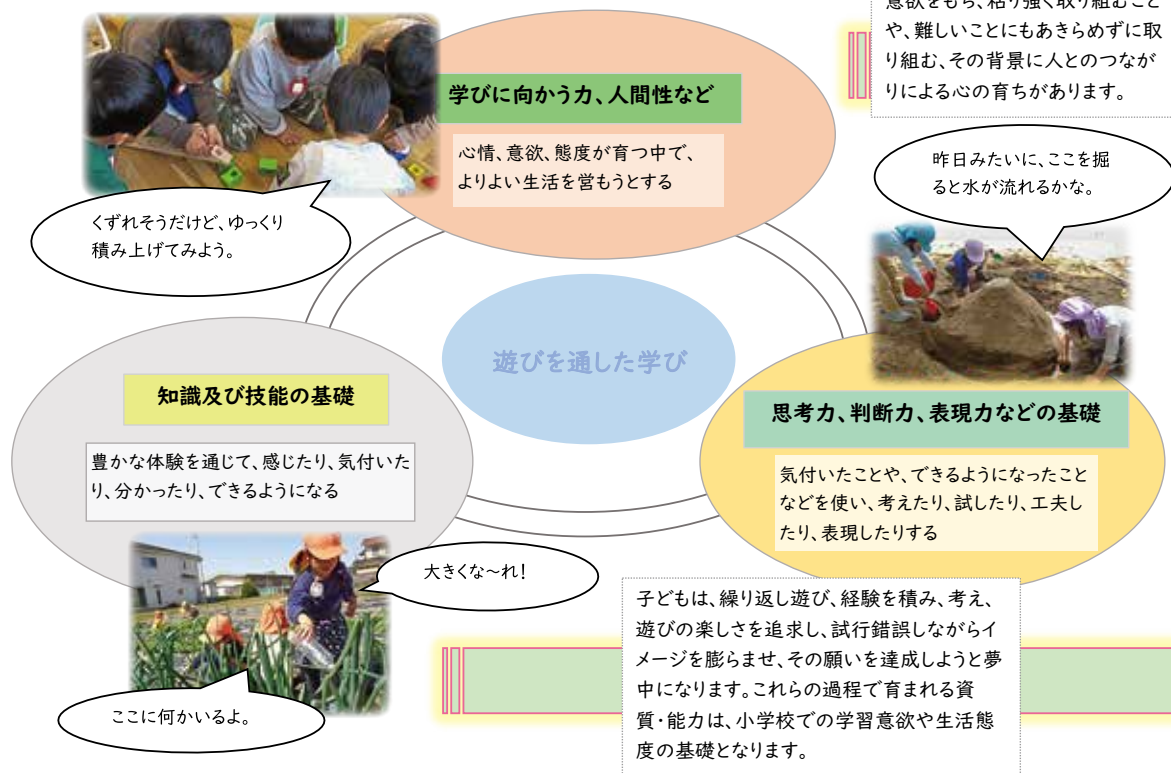


#### 小学校以降の教育

「四日市市新教育プログラム」をもとに、乳幼児期から小学校就学に向け、一貫性・連続性を意識した学びの一体化が実現できるよう、乳幼児期の子どもたちの育ちと学びを支えていきます。

## 就学前教育・保育で育みたい資質・能力

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた保育の充実



## 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(10の姿)

就学前教育・保育と小学校教育とのなめらかな接続に関して「3つの資質・能力」を具体的な姿として表したものです。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、到達すべき目標ではなく方向目標であること、個別の評価のものさしではないことに十分留意する必要があります。

## 一人ひとりをつなぐ 保育と

就学前では

健康な心と体	自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる
自立心	自分の力でやり遂げる体験などを通じて自信をもって行動するようになる
協同性	友だちと一緒に目的の実現に向けて考えたり協力したりするようになる
道徳性・規範意識の芽生え	よいことや悪いことが分かり、相手の立場に立って行動するようになる。きまりを守ったりするようになる
社会生活との関わり	家族を大切にしたり、身近な人と触れあって地域に親しみをもつようになる。遊びや生活に必要な情報を役立てて活動したり、公共施設を利用して、社会とのつながりを意識するようになる
思考力の芽生え	身近な事象から物の性質などを感じ取ったり、予想したりして、多様なかかわりを楽しむようになる
自然との関わり・生命尊重	自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。生命の不思議さなどに気付き、動植物を大切にようになる
数量や図形標識や文字などへの関心・感覚	遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しんだりして、興味や関心、感覚をもつようになる
言葉による伝え合い	経験したことなどを言葉で伝えたり、話を聞いたりして、伝えあいを楽しむようになる
豊かな感性と表現	心動かす出来事に触れ、感じたことを表現して、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる

「第4次四日市市学校教育ビジョン」より引用

子どもの自発的な活動としての遊びを通して、子ども一人ひとりの発達の特性にに応じて育っていくものであり、全ての子どもに同じように見られるものではないことや5歳児だけでなく、それぞれの時期から、乳幼児が発達していく方向を意識して、それぞれの時期にふさわしい保育者のかかわりを積み重ねていくことによって育っていく姿です。

## 学校教育を通して育む力

### 学校教育全体の育成すべき資質・能力

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善



### 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(10の姿)

乳児期からの発達の連続性の上に現れ、子どもが発達していく方向性を示すもので、就学時だけでなく、これからも育っていく姿と考えます。就学前施設と小学校が共に10の姿を意識して、それぞれの時期にふさわしい指導を積み重ねていくことで、より確実な成長につながっていきます。

### 授業をつなぐ カリキュラムをつなぐ

接続期の小学校では

※ 各教科のみでなく、小学校以降の学習生活の基盤となります。

健康な心と体	次の活動を考えて準備するなどの見通しをもって行動したり、安全に気を付けて登下校したりするなど
自立心	生活や学習での課題を自分のこととして受け止め、意欲的に取り組むなど
協同性	学級での集団生活の中で、目的に向かって自分の力を発揮しながら友だちと協力するなど
道徳性・規範意識の芽生え	相手の気持ちを考えたり、自分の振る舞いを振り返ったりなどしながら、気持ちや行動を自律的に調整し、学校生活を楽しくしていこうとするなど
社会生活との関わり	様々な人とかかわり、関心のあることの情報に気付き積極的に取り組むなど
思考力の芽生え	新しい環境や教科等の学習に対して興味や関心を持ち、主体的にかかわるなど
自然との関わり・生命尊重	生命あるものを大切にし、生きることの素晴らしさの自覚を深めるなど
数量や図形標識や文字などへの関心・感覚	学習に関心をもって取り組み、実感を伴った理解をし、学んだことを日常生活の中で活用しようとするなど
言葉による伝え合い	友だちと互いの思いや考えを伝え、受け止めたり、認めあったりしながら一緒に活動するなど
豊かな感性と表現	音楽や図工、身体等による表現の基礎を身に付け、感性を働かせ表現することを楽しむなど

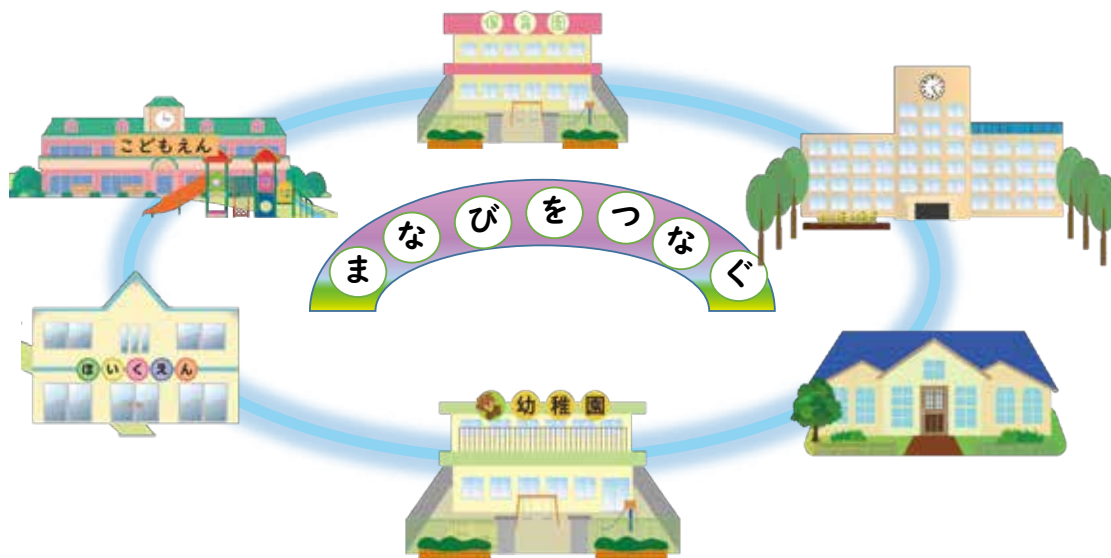
文部科学省「幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引きの参考資料(初版)」より一部引用

発達の途上にある姿を小学校教育で引き続き伸ばしていきます。学びの芽生えを更に伸ばしていくべく、幼児教育の成果を生かした教育活動に取り組むことが求められ、子どもの豊かな学びと成長を踏まえて、子どもが主体的に自己発揮できるような場面を意図的につくることが望まれています。

## 小学校以降の生活や学習の基盤を育成～子どもの発達や学びをつなぐ～

就学前教育・保育から小学校教育へ子どもたちの学びをつないでいくためには、まず、子どもの育ちと学びを知り、保育者・教職員が互いにどのようなねらいで、どのようなことをしているのか、それぞれの保育・教育内容について知り、理解を深めることが大切です。

就学前施設と小学校との子ども同士の交流、保育者・教職員の連携を図り、伝えあう機会を大切にしていきたいと思います。



### 子どもの姿を伝えあう

就学前施設では、ゆったりした時間の中で子どもたちの主体性を大切にしています。実際の指導の様子を見たり、教職員との意見交換を行ったりすることで、子どもの姿や学びの見通し・確認を共有することが必要です。互いに顔の見える関係を大事にしていきたいと思います。例えば、4月の授業を就学前施設の職員が参観することを通して、就学前教育・保育の学びが小学校でどのように育っているかを語りあったり、幼児・児童の姿や指導の在り方を聴きあったりするなどの方法も考えられます。

子どものよさや幼児教育・保育の過程を具体的に記した要録などを通し、連携をより密にしていけるようにしていきたいと思います。





小学校の運動場で遊んだり、  
小学校の生活をのぞいてみ  
たりすることで、入学への  
期待が高まります。



## 幼保こ小の接続期に着目した接続カリキュラム (作成例)

四日市市がめざす子どもの姿	夢と志を持ち、未来を創るよっかいちの子ども							
ねらい	自己を発揮しながら、友だちと共通の目的に向かって取り組んでいく							
育ちのりレー	<p style="text-align: center;"><b>学びの根っこ</b></p> <p style="text-align: center;">～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた遊びの充実～</p>							
	共通の目的に向かって、友だちと一緒に実現しようと遊びを進める時期			年長児後半		友だちとのつながりが深まり、就学への期待をもちながら見通しをもって活動する時期		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿	
すこやか つながり まなびのめばえ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムを身に付ける。①②</li> <li>○クラスで活動する時間、個々に主体的に活動する時間など切り替えを意識する。⑤</li> <li>○食事のマナーを身に付け、体のしくみと食の関心に興味をもち、様々な食べ物を食べてみようとする。①</li> <li>○手洗い、うがいなど身の回りの衛生や清潔に気を付けようとする。①</li> <li>○してよいこととしてはいけないことが分かり、きまりの必要性を理解し、約束を守って行動しようとする。④⑤</li> <li>○遊具を安全に使う、交通ルールを守る、不審者や災害時の対応を知る等、自分の身を自分で守ろうとする。①④</li> <li>○繰り返ししたり、挑戦したりして、自分の力を発揮しようとしながら自ら十分に体を動かし楽しむ。①</li> <li>○自分なりの目標をもって進んで挑戦し、あきらめずにやり遂げようとする。①②</li> <li>○友だちとルールやゲーム性のある遊びを通して競いあったり、力を合わせたりして思いきり遊びきる。①③④</li> <li>○自分からあいさつや返事を進んでしようとする。⑤⑦</li> <li>○進んで友だちとかかわり、互いのよさを認めあおうとする。③⑦</li> <li>○トラブルやすれ違いを通して自分の気持ちに折りあいをつけ調整しようとする。②</li> <li>○自分の考えを言葉で伝えたり、友だちの思いを受け入れたりして遊びを進めようとする。⑥⑦</li> <li>○思いやりの心が芽生え、人とかかわることの嬉しさを味わう。④⑤</li> <li>○様々な人と触れあい、周りの人に感謝の気持ちをもつようになる。④⑤</li> <li>○生活や遊びの中で片付けをしたり、手伝いをしたり、役に立つ喜びを感じていく。④⑤</li> <li>○友だちへの意識が高まり、進んでかかわりもちながらかつながり深めようとする。⑤</li> <li>○飼育や栽培を通して身近な生き物に思いを寄せてかかわり命の大切さに気付く。④⑦</li> <li>○様々な環境に触れ、興味・関心をもち、進んで取り組む中で、試したり工夫したりしながら遊びを深めようとする。②⑥⑩</li> <li>○心を動かされる様々な出来事に触れ、感じたことや考えたことをリズム、動き、絵画、言葉等、様々な方法で表現しようとする。⑩</li> <li>○身近な自然に触れ、季節の変化や不思議さなどを感じとり、遊びに取り入れながら自然への好奇心、探究心を高める。⑦⑩</li> <li>○絵本や物語などに親しみ、読んでもらったり、自分で読もうとしたり、自分で読んだりしてイメージを豊かにする。⑥⑦</li> <li>○自分の考えや思いを言葉で伝えたり、相手の話を聞いたりして考えを広げながら遊ぶ楽しさを味わう。③⑦</li> <li>○友だちの考えに触れ共感しあう喜びを味わい、違う考えを知り、自分の見方を広げようとする。⑥</li> <li>○共通の目的に向かって、積極的に環境に働きかけ、友だちと協力して考えたり、工夫したりして活動する充実感を味わう。③</li> <li>○文字に興味・関心をもち、遊びの中に取り入れて楽しもうとする。⑥⑧</li> <li>○遊びや生活の中で、数えたり、比べたり、組み合わせたりなど、数量や図形等に関心をもち、遊びの中で楽しんでいく。⑥⑧</li> </ul>							<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">① 健康な心と体</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">② 自立心</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">③ 協同性</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">④ 道徳性・規範意識の芽生え</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">⑤ 社会生活との関わり</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">⑥ 思考力の芽生え</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">⑦ 自然との関わり・生命尊重</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">⑨ 言葉による伝え合い</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">⑩ 豊かな感性と表現</div>
	～遊びや生活を通して総合的に学ぶ～							
カリキュラムの特徴	～遊びや生活を通して総合的に学ぶ～							

## ～生きる力・共に生きる力の育成を目指して～

新しい環境の中で安定した生活を送り、友だちと共に勉強や活動をする

### 自覚的な学びへ

～主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善～

小学生になった喜びと「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」  
が行きつ戻りつしながら、小学校生活に慣れていく時期

1年生前半

学校生活に慣れ、友だちと楽しく生活したり、  
自信をもって学習等に取り組んだりする時期

4月

5月

6月

7月

8月

9月

- 「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムを身に付け、自分で意識して生活する。
- 学校生活における一日の流れや時間を意識し、見通しをもって生活しようとする。
- 給食の準備から片付けまでの流れの中で食事のマナーを身に付け、食事の大切さを知りながら何でも食べてみようとする。
- 自分の持ち物を自分で管理し、整理整頓を習慣化する。
- 身の回りの衛生や清潔に気を付け、丈夫な体をつくり、病気の予防に努めるようになる。
- 学校のきまりを知り、してよいこととしてはいけないことを自分で判断し、考えて行動しようとする。
- 安全な遊具の使い方、交通ルール、災害時緊急時の行動の仕方を知るなど危険を予測して、自分の命や身を守ろうとする。
- いろいろな運動や新しい体の動きに興味をもち、体を動かす心地よさを味わいながら基本的な動きを身に付ける。
- 自分なりの目標をもって進んでいろいろな運動に挑戦し、繰り返し挑戦し取り組み、やり遂げようとする。
- ゲームなど運動遊びを通して簡単なルールを工夫したり、勝敗を受け入れたりして誰とでも仲よく遊ぶ。
- 相手の顔を見ながら場に応じたあいさつや返事をする。
- 友だちと一緒に活動する中で、互いのよさを理解し、助けあおうとする。
- 学校生活で生じた問題を話しあって、自分たちで解決しようとする。
- 相手のことを想像したり、伝えたいことを自分の言葉で伝えたりしようとする。
- 自分のことを大切に、周囲の人へも温かい心で接しようとする。
- 様々な人との触れあいを楽しみにし、感謝やあこがれの気持ちをもつ。
- 学校生活の中で当番活動、係活動等役割を果たし、自己有能感を高めていく。
- 新しい友だちと積極的にかかわり、協力していこうとする。
- 生き物の世話などの体験活動を通して、命を大切に作る心をもつようになる。
- 生活や学習の中で課題に対して意欲的に解決に向けて取り組もうとする。
- 図画工作や音楽など表現することの面白さや楽しさを感じ、表し方などについて考え、自分なりの表現方法を広げていく。
- 学校の身近な自然や生き物に触れ、体験的な活動を通して、面白さや不思議さに気付き、関心をもって働きかけようとする。
- イメージを広げながら読み聞かせを聞いたり、簡単なお話を読んだりして言葉がもつ面白さを味わおうとする。
- 互いの考えを聞きあいながら相手に分かるように言葉で伝えたり、絵、文字で伝えたり、学んでいく楽しさを感じる。
- 友だちの意見を聞き自分の見方や考えを広げ、深めようとする。
- 友だちと協同的に活動し、達成した喜びを味わいながら、さらにやってみようとして意欲的に活動する。
- 自分の名前を読んだり、書いたり、言葉のまとまりに気付いたりしながら、文字を覚え、関心を深めていく。
- 数の大きさ比べや、なかま集めをしたり、順番に数えたりしながら、日常生活に生かそうとする。

確かな学力

豊かな人間性

健康・体力

～教科等の学習内容を系統的に学ぶ～

# 幼保こ小の接続期に着目した接続カリキュラム (取り組み例)

四日市市がめざす子どもの姿		夢と志を持ち、未来を創るよっかいちの子ども					
ねらい		自己を発揮しながら、友だちと共通の目的に向かって取り組んでいく					
育ちのりレ-		学びの根っこ ～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた遊びの充実～					
		共通の目的に向かって、友だちと一緒に実現しようと遊びを進める時期		年長児後半		友だちとのつながりが深まり、就学への期待をもちながら見通しをもって活動する時期	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月
すこやか	 <p>「これは、持って帰るよね」身の回りのことや生活のルールのある程度理解し、自分で気付いてやろうとしています。</p>	 <p>「あと少しでいけそう！もう1回やってみる」あきらめずに最後まで粘り強くやり遂げようとする気持ちを育み達成感を味わっていきます。</p>	 <p>「野菜もお魚も食べるよ」給食、お弁当等の時間や食育活動を通して、楽しく食べる経験を積み重ねています。</p>	 <p>「〇〇チームがんばれー！」思いきり体を動かす心地よさを感じ、場面に応じて体を調整する力を育てています。チームで競いあったり、勝敗などの気持ちの調整をしたりしながら、遊びきる楽しさを味わっています。</p>			
							 <p>「おはようございます」あいさつを進めようとしています。あいさつから保護者・職員・地域の方との触れあう機会を大切にしていきます。</p>
	 <p>「どう思う？それいいね」「こっちのほうがいいかな」自分の思いや考えを言葉で分かるように伝えたり、相手の話を聞こうとしたりしながら遊びを進めていきます。</p>	 <p>「ホースがとっても長いだね」興味をもって、消防士さんの話を聞いたり、質問をしたりします。生活に関係するいろいろな人と出会っていきます。</p>					
					 <p>「ここにお店やさんて、書いたらいい？」ごっこ遊びに必要な看板や表示を作っています。「絵や文字を通して、自分のイメージを表現したい」という思いをもつようになります。遊びの中に取り入れて楽しもうとします。</p>	 <p>「みんな、水流すよ！こっちにも流れてきたよ！」遊びの中で友だちと工夫したり、考えたりしながら、友だちと一緒に達成感、満足感を味わいます。砂や水の性質に気付いたり、その性質を確かめたりして遊ぶおもしろさを感じていきます。</p>	
	 <p>「あれ、何か映ってるよ。この形と一緒に！」「不思議だね」影ができることや同じ形に気付いていきます。予想すること、試してみることが興味を深まっていきます。</p>	 <p>「かまきりって何食べるの？」身近な生き物に接し、どうなるのだろうと観察し、変化に驚いたり、関心を寄せたりしていきます。</p>					
				～遊びや生活を通して総合的に学ぶ～			



# ～生きる力・共に生きる力の育成を目指して～

新しい環境の中で安定した生活を送り、友だちと共に勉強や活動をする

## 自覚的な学びへ

～主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善～

小学生になった喜びと「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」  
が行きつ戻りつしながら、小学校生活に慣れていく時期

1年生前半

学校生活に慣れ、友だちと楽しく生活したり、  
自信をもって学習等に取組んだりする時期

4月

5月

6月

7月

8月

9月



**「おいそう！おなかすいたね」**  
配膳から片付けなど流れを知りながら、給食を楽しんでいます。食の大切さも学びます。



**「手を上げて渡ろう」**  
交通ルールや安全な生活の仕方を理解し、きまりを守って生活します。

**「一年生になったら」**  
新しい友だちや先生と話したり、遊んだり、係の仕事や日直の仕事、掃除の仕方などを覚えたりしていきます。学校のきまりを知り、見通しをもって生活していこうとします。



**「ドッジボールしよう！」**  
広い校庭で友だちと元気に遊び、楽しさを感じ、運動することの心地よさを味わっていきます。園で経験してきたルールを思い出したり、新しい仲間とともに、新たなルールを作り出そうとしたりします。

**「わたしの名前は〇〇です」**  
新しく出会った友だちとつながり、学びや遊びの様々な場面で人との関係を深めていきます。



**「この形とここの形似てるよね」「一緒だと思うけど、どうかな」**  
形を意識し、組み合わせ方を考えています。自分たちで対話しながら、考え学びあおうとしていきます。



**「いつもありがとう」**  
地域やいろいろな方にお世話になり、感謝の気持ちを持ち、温かい心で接していきます。



**「学校を探検しよう」**  
学校内の施設や部屋について調べたり、学校で働いている人について調べたりします。学校探検で発見したことを絵や文字で表現し、学校生活に期待を膨らませていきます。



**「試してみよう」**  
生活科の授業を中心に、これまでの経験を生かし、友だちと一緒に知っていることを出しあったり、比べたりしながら、活動がさらに楽しくなっています。



**「どの色にしようかな」**  
音楽や図画工作などで喜びや楽しさにふれ、学校生活に親しみがもてるようになります。

**「こんなに小さい種なんだね」**  
栽培や飼育などの体験的な活動を通して、変化や成長の様子に関心を持ち、不思議さや生命に気づき、大切に世話をするようになります。



確かな学力

豊かな人間性

健康・体力

～教科等の学習内容を系統的に学ぶ～

## 資料

## 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

## 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の留意点

○5領域のねらい及び内容に基づいて、各就学前施設で、乳幼児期にふさわしい遊びや生活を積み重ねることにより、就学前教育において育みたい資質・能力が育まれている子どもの具体的な姿であり、特に5歳児後半に見られるようになる姿である。

○保育者は、遊びの中で子どもが発達していく姿を、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を念頭に置いて捉え、一人ひとりの発達に必要な体験が得られるような状況をつくったり必要な援助を行ったりするなど、指導を行う際に考慮することが求められる。

○「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が到達すべき目標ではないことや、個別に取り出されて指導されるものではないことに十分留意する必要がある。子どもの自発的な活動としての遊びを通して、一人ひとりの発達の特性に応じて、これらの姿が育っていくものであり、全ての子どもに同じように見られるものではないことに留意する必要がある。

○5歳児に突然見られるようになるものではないため、5歳児だけでなく、乳児期から、子どもが発達していく方向を意識して、それぞれの時期にふさわしい指導を積み重ねていくことに留意する必要がある。

## 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

## ○健康な心と体

生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。

## ○自立心

身近な環境に主体的にかかわり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。

## ○協同性

友だちとかかわる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。

## ○道徳性・規範意識の芽生え

友だちと様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり友だちの気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友だちと折りあいを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる。

### ○社会生活との関わり

家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れあう中で、人との様々なかかわり方に気づき、相手の気持ちを考えてかかわり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。また、園内外の様々な環境にかかわる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝えあったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。

### ○思考力の芽生え

身近な事象に積極的にかかわる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様なかかわりを楽しむようになる。また、友だちの様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気づき、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。

### ○自然との関わり・生命尊重

自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気づき、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることをかかわるようになる。

### ○数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。

### ○言葉による伝え合い

先生や友だちと心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝えあいを楽しむようになる。

### ○豊かな感性と表現

心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気づき、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友だち同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。

「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」  
「保育所保育指針解説」「幼稚園教育要領解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」「幼稚園教育パンフレット（※幼児期の終わりまでに育ってほしい姿）」 参照

「発達や学びをつなぐスタートカリキュラム」  
文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター

第1章 スタートカリキュラムの必要性  
1 学習指導要領におけるスタートカリキュラムの位置付け

平成29年3月に改訂された学習指導要領においては、知・徳・体にわたる「生きる力」を子供たちに育むため、全ての教科等の目標及び内容が「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理された。また、同じく改訂された幼稚園教育要領や幼保連携型認定こども園教育・保育要領、改定された保育所保育指針（以下「幼稚園教育要領等」という）においても、「知識及び技能の基礎」、「思考力、判断力、表現力等の基礎」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱から構成される資質・能力を一体的に育むように努めることを示し、幼児期の教育の特質を踏まえ、資質・能力の三つの柱に沿って内容の見直しが図られている。

このように、今回改訂された学習指導要領においては、各教科等個別の学習のみならず、教科等や学校段階等を越えて育成を目指す資質・能力を育成していくことが求められており、各学校にはその実現に向けたカリキュラム・マネジメントが期待されている。今回の改訂においては、学校段階等間の接続の観点から、第1章総則で「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた指導を工夫することにより、幼稚園教育要領等に基づく幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を踏まえて教育活動を実施し、児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことが可能となるようにすること」が規定され、幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続については重要性が一層高まっている。しかし、遊びや生活を通して総合的に学んでいく幼児期の教育課程と、各教科等の学習内容を系統的に学ぶ児童期の教育課程は、内容や進め方が大きく異なり、小学校教育への接続は容易ではない。

これまで、幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続については、平成20年の「小学校学習指導要領解説生活編」の中で、幼児期の学びから小学校教育への円滑な接続を目的としたカリキュラム編成の工夫として、スタートカリキュラムが示されてきた。

今回の改訂においては、第1章総則で、低学年における教育全体において、幼児期の教育及び中学年以降の教育との円滑な接続を図る役割が生活科に期待されるとともに、「特に、小学校入学当初において、生活科を中心に、合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定など、指導の工夫や指導計画の作成を行うこと（スタートカリキュラムの編成・実施）」が規定されたことを受け、低学年の各教科等（国語科、算数科、音楽科、図画工作科、体育科、特別活動）の学習指導要領にも同旨が明記されている。

以上のことから明らかなように、各小学校においては、入学した児童が、幼児期の教育における遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことが可能となるようにするためのスタートカリキュラムの充実が求められている。

(参考1)「小学校学習指導要領第1章総則」(平成29年告示)に新設された  
第2の4「学校段階間の接続」(1)

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた指導を工夫することにより、幼稚園教育要領等に基づく幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を踏まえて教育活動を実施し、児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことが可能となるようにすること。

また、低学年における教育全体において、例えば生活科において育成する自立し生活を豊かにしていくための資質・能力が、他教科等の学習においても生かされるようにするなど、教科等間の関連を積極的に図り、幼児期の教育及び中学年以降の教育との円滑な接続が図られるよう工夫すること。特に、小学校入学当初においては、幼児期において自発的な活動としての遊びを通して育まれてきたことが、各教科等における学習に円滑に接続されるよう、生活科を中心に、合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定など、指導の工夫や指導計画の作成を行うこと。

(参考2)「小学校学習指導要領解説総則編」(平成29年)  
第3章第2節4学校段階間の接続  
(1)幼児期の教育との接続及び低学年における  
教育全体の充実より

小学校低学年は、幼児期の教育を通じて身に付けたことを生かしながら教科等の学びにつなぎ、児童の資質・能力を伸ばしていく時期である。幼稚園教育要領等においては、「知識及び技能の基礎」、「思考力、判断力、表現力等の基礎」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱から構成される資質・能力を一体的に育むように努めることや、幼児期の教育を通して資質・能力が育まれている幼児の具体的な姿を幼児期の終わりまでに育ってほしい姿として示している。

この幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を手掛かりに幼稚園の教師等と子供の成長を共有することを通して、幼児期から児童期への発達の流れを理解することが大切である。

小学校においては、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた指導を工夫することにより児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かい、幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を更に伸ばしていくことができるようにすることが重要である。

その際、低学年における学びの特質を踏まえて、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を育むことを目的としている生活科と各教科等の関連を図るなど、低学年における教育課程全体を見渡して、幼児期の教育及び中学年以降の教育との円滑な接続が図られるように工夫する必要がある。特に、小学校の入学当初においては、幼児期の遊びを通じた総合的な指導を通じて育まれてきたことが、各教科等における学習に円滑に接続されるよう、スタートカリキュラムを児童や学校、地域の実情を踏まえて編成し、その中で、生活科を中心に、合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定など、指導の工夫や指導計画の作成を行うことが求められる。

学びや生活の基盤をつくる幼児教育と小学校教育の接続について  
～幼保小の協働による架け橋期の教育の充実～  
令和5年2月27日  
中央教育審議会 初等中等教育分科会

②架け橋期のカリキュラムの作成及び評価の工夫による  
PDCA サイクルの確立  
(ア) 幼保小の協働による架け橋期のカリキュラムの作成

○ 幼保小が教育課程の構成原理等の違いを越えて相互理解を深めるためには、幼保小が協働し、共通の視点を持って教育課程や指導計画等を具体化できるよう、架け橋期のカリキュラムを作成することが重要である。また、その際は、3要領・指針において幼児期の資質・能力が具体的に現れる姿として定められている「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」等を手掛かりとして活用することが考えられる。

○ 具体的には、3要領・指針の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」等や小学校学習指導要領を参照しながら、地方自治体が定める教育に関する基本的な方針等や幼児教育施設・小学校の教育目標、子供の実態等を踏まえて、幼保小が協働して「期待する子供像」や「育みたい資質・能力」を明らかにするとともに、この「期待する子供像」や「育みたい資質・能力」を基にして、「園で展開される活動」や「小学校の生活科を中心とした各教科等の単元構成等」等を具体的に明確化していくことが考えられる。そして、このような取組を幼保小それぞれのカリキュラム・マネジメントと連動させていくことが大切である。

## 令和5年 四日市市幼児教育・保育研究協議会委員名簿（敬称略）

選任区分	氏名	職名
学識経験者	(会長) 富田 昌平	三重大学教授
	水津 幸恵	三重大学講師
幼稚園 保育園 こども園 地域型保育施設 関係者	松永 高弘	三重県私立幼稚園・認定こども園協会理事 四日市私立幼稚園協会会長 (あおい学園園長)
	佐々木 正利	四日市私立保育連盟会長 (大谷台保育園園長)
	藤谷 俊文	三重県保育協議会会長 (まちなかフジ保育園園長)
	山内 祥代	四日市市公立幼稚園・こども園長会会長 (四日市市立泊山幼稚園園長)
	町野 あゆみ	四日市市公立保育園・こども園長会会長 (四日市市立日永中央保育園園長)
教育委員会 行政関係者	草川 誠	四日市市教育委員会指導課課長
	大熊 雅教	四日市市教育委員会指導課指導主事
	松岡 尚子	四日市市こども未来部保育幼稚園課副参事兼 課長補佐兼指導係長
	山本 直子	四日市市こども未来部保育幼稚園課副参事兼課長補佐

## 四日市市幼児教育・保育研究協議会設置要綱

### 第1条 (趣旨)

市内の公私立の幼稚園・保育園・認定こども園・地域型保育施設等幼児教育・保育に携わる関係者と学識経験者が集まり、幼児教育・保育の振興に向けた調査研究を行うため、四日市市幼児教育・保育研究協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

### 第2条 (研究事項)

協議会は、幼児教育・保育に関する基本的事項をはじめ、本市の幼児教育・保育にとって必要となる今日的課題を踏まえた事項について調査研究を行うものとする。

### 第3条 (構成)

協議会は、次に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 学識経験者
- (2) 幼稚園関係者
- (3) 保育園関係者
- (4) 地域型保育施設関係者
- (5) 教育委員会及び行政職員
- (6) その他協議会が必要と認めるもの

### 第4条 (会長)

協議会に会長を置く。

- 1 会長は、委員のうちから互選する。
- 2 会長は、協議会の会務を総理する。
- 3 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、会長があらかじめ指名した者が会長代行として、その職務を代理する。

### 第5条 (協議会の招集)

協議会は、市こども未来部長が招集する。

### 第6条 (意見聴取)

協議会は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求めて、その意見を聴くことができる。

### 第7条 (庶務)

協議会の庶務は、市幼児教育センターにおいて処理する。

### 第8条 (雑則)

この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、市こども未来部長が定める。

### 附 則

この要綱は、令和5年4月1日から施行する。



## 参考文献

「こども基本法」	こども家庭庁
「小学校学習指導要領」	文部科学省
「幼稚園教育要領」	文部科学省
「保育所保育指針」	厚生労働省
「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」	内閣府・文部科学省・厚生労働省
「発達や学びをつなぐスタートカリキュラム」	国立教育政策研究所教育課程研究センター
「学びや生活の基盤をつくる幼児教育と小学校教育の接続について～幼保小の協働による架け橋期の教育の充実～」	文部科学省
「幼保小の架け橋プログラムについて」	文部科学省
「茨城県保幼小接続カリキュラム」	茨城県教育委員会
「大阪市就学前教育カリキュラム」	大阪市
「伊丹市幼児教育カリキュラム」	伊丹市教育委員会
「天津市幼児教育・保育共通カリキュラム」	天津市・天津市教育委員会
「鳴門市就学前教育・保育カリキュラム」	鳴門市・鳴門市教育委員会







# 四日市市幼児教育センター

発行 四日市市こども未来部保育幼稚園課

四日市市幼児教育センター

〒510-0025

四日市市東新町 26-32 橋北交流会館 3 階

TEL 059-333-6002